

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金（食品の安全確保推進研究事業）
バイオテクノロジーを用いて得られた食品のリスク管理及び国民受容に関する研究

バイオテクノロジー応用食品の安全性に関するリスクコミュニケーション

研究分担者 今村 知明 奈良県立医科大学 教授
協力研究者 岡本 左和子 奈良県立医科大学 学内講師
宮本 麻央 神戸大学理学研究科生物学専攻 修士課程卒業予定

研究要旨

GM (genetically modified) 食品に対する日本の消費者の受容は、その登場時から一貫して低く、改善の兆しは見られない。その一方で、GM 技術は発展してきており、従来の GM 技術とは異なる特徴を持った NBT (new breeding technologies) のような技術も登場し、海外諸国ではすでに実用化が進んでいる。このような状況下において、リスクコミュニケーションの複雑性は増し、また、一層慎重な対応が求められるようになってきている。

本研究では、GM 食品が受容されない本質的原因の究明を目的として、消費者の年代別の受容性の差異について要因の解明のため、消費者のライフイベントによる受容性の変化と食品の安全性の感度の変化について調査を実施した。また、海外の最新動向として、米国食品医薬品局(Food and Drug Administration: FDA)による GM サーモンの承認を受けて、米国とカナダにおける GM サーモンに対する報道状況を整理し、消費者の反応の実態を把握した。

A. 研究目的

GM 食品に対する日本の消費者の意識の特徴として、実際のリスクは明確に認識していない一方で、摂食意向は低い。リスク認知と受容のかい離によって大きいねじれ現象が発生している。これは、これまでの当研究分担者による研究結果から、他の食品リスク（添加物、食中毒、放射能等）と比較しても特殊な状況である。昨年度の研究において、高校の教育で得た生物に対するリテラシーは食のリスクに関する意識にあまり影響しないことが確認されている。それよりも、結婚や出産、子育て期間とい

ったライフステージの変化の方が、食のリスクに対する消費者の感度や、GM 食品の受容性に影響するのではないかと考えられ、これらの消費者の感度が変わるライフイベントや理由などを明らかにすることで、コミュニケーションの一助となる可能性がある。

また、GM サーモンの登場により、実用化された GMO (genetically modified organism) がこれまでの植物から動物に拡大した。その結果、従来 GMO の表示義務が無かった米国においても GM サーモンに対しては表示が必要であるといった議論

が発生するなど、GM やゲノム編集をめぐる社会的状況が変化してきている。

これまで通用してきたことが通用しなくなるなど、リスクコミュニケーションにおいても、より一層の配慮と、新たなコミュニケーションロジックや手法の開発が求められている。

本研究では、GM 食品が受容されない本質的原因の究明に取り組むとともに、動植物の育種や品種改良の現場における技術として、重要性が増す一方である GM 技術やゲノム編集技術について、国民の正しい理解と判断を手助けするために必要なコミュニケーションツールおよび手法を開発する目的で、3 か年で以下の研究を実施することとした。(図 1)

B. 本研究の内容

I. 最先端の GM 技術の整理とコミュニケーション上の問題点の抽出 (初年度)

- ・昨今の市場において「不分別」という表示の商品がでてきていることから、数年前に行った GM 食品に対する消費者の意識と本年の意識に変化があるのかを確認した。
- ・昨年度の研究成果より、生物に対するリテラシーよりも年代の方が GM への受容性に影響が高いことが明らかになった。
- ・それにより、年代による GM への受容性の違いの要因であると考えられるライフイベント (結婚、子育て、子どもの独立等) に着目し、GM 食品に対する受容性や食の安全性の感度の違いを明らかにする。

II. 新たな説明ロジック及び説明ツールの開発 (初年度～二年目)

- ・最先端の GM 技術動向に合わせた説明

ツールを開発する。

III. 先進国や食品以外の分野における事例調査 (初年度～最終年度)

- ・各国における GM 食品および NBT の安全性審査の状況等について、最新の状況を把握する。
- ・GM サーモンの最新動向について情報収集を行う。

IV. リスクコミュニケーション手法の開発 (最終年度)

- ・アンケート調査による GM 作物に対する消費者の最新の受容性や調査、開発した説明ツールの検証を行う。

I. 最先端の GM・NBT 技術の整理とコミュニケーション上の問題点の抽出

2016 年 3 月に実施したアンケート調査では、高校生物の履修内容 (リテラシー) や履修課程 (年代) の違いによる GM 技術と GM 食品への理解と受容の可能性について整理した。

その調査結果から、高校生物の履修内容 (リテラシー) よりも履修課程 (年代) によって、GM への受容に差が生じる可能性があることが明らかになった (詳細は、II. に記載する)。

そのため、今年度は年代やライフステージの変化 (結婚、子育て、子ども独立等) に伴い、食生活・食への意識がどのように変容し、GM への受容に影響を与えているかを調査した。

また、数年前と現在では、消費者の意識に変化があるかどうかについて確認をした。

I-1. 研究方法

一般消費者に対して、Web アンケートを実施した。Web アンケートの実施要領は、下記の通りである。

- 調査実施日：2017年2月
- 有効回答数：523人
- 回収率：48.8%
- 方法：Web アンケート
- 調査項目：
 - 結婚の有無・同居家族の有無
 - 幼少期・現在の食生活、理想とする食生活（自炊・惣菜購入・外食等の行動別にその頻度や重視する点等を把握）
 - ライフステージの変化に伴う食の安全に関する意識変化
 - 食品のラベル表示に関する知識（遺伝子組換え不分別等）
 - GM食品（作物）の受容性
 - GM食品の購買判断 等

なお、サンプルの構成は、性別・年齢構成（20代、30代、40代、50代、60代以上の5分類）で各50人になるように均等に割付を行った。

I-2. 研究結果

(1) GM食品への抵抗感及び購入意向

食品の安全性に関心があると75.5%が回答しており、食品の安全性に不安を感じると67.1%が回答した（図2）。

GM食品への抵抗感については、53.9%があると回答した（図3）。GM食品の購入意向については、6割前後が購入したくないと回答しており、特に遺伝子組換えサケは68.1%と他の品目と比べて高い値であ

った（図19）。

(2) 食生活におけるGMへの意識

平日の夕食で遺伝子組換えか否かを気にするかという設問に対して、自炊の場合は45.1%が気にすると回答した。農薬が少ないか、食品添加物を含まないかを気にするのは、それぞれ54.3%、53.7%であり、これと比較すると若干低い割合となった（図5）。

一方、外食の場合においても、42.9%が遺伝子組換えか否かを気にすると回答しており、必ずしも食品表示がされていないにも関わらず、自炊の場合と同等の割合で関心が示された。食材の産地を気にする割合は45.2%であり、これと近い値であった（図6）。

(3) ライフステージの変化と食の安全性への関心

ライフステージの変化に伴い、食の安全性への関心がどのように変容してきたかという設問では、結婚前後及び妊娠・授乳前後で変化が大きかった。食の安全性を気にするという回答は、結婚前後で23.0%増加しており、妊娠・授乳前後で20.7%増加していた（図7）。

また、食の安全性を気にかけるきっかけについて、食品に関する事件の発生を挙げたのは75.2%であり、もっとも高かった。子どもの誕生を挙げたのが67.8%、結婚を挙げたのが44.7%であった（図8）。

(4) 食品のラベル表示に関する知識等

食品を購入する際にラベル表示を確認するかという設問に対して、55.1%が確認すると回答した（図9）。豆腐・ポテトチップスのラベルのイメージ画像を提示し、重視する項目を3つ聞いたところ、それぞれ

3割程度が遺伝子組換えか否かを選択した（図 10、図 11）。

また、「遺伝子組換え不分別」の意味を知っていると回答したのは 11.9%に留まった（図 12）。意味を知っていると回答した層では、不分別の場合に遺伝子組換えの原材料が含まれる割合について、「10%以上 30%未満」という回答が 17.7%でもっとも多かった（図 13）。一方、意味を知らないと回答した層では、遺伝子組換えの原材料が含まれる割合について、「5%未満」という回答が 11.7%でもっとも多かった。「遺伝子組換え不分別」の意味を知らない層では、遺伝子組換えの原材料が含まれる割合をより低く回答する傾向にあった。

(5) 過去からの消費者意識の変化の比較

研究分担者は 2007 年以降、継続的に消費者意識について調査を実施してきており、本調査結果との比較を行い、消費者意識の変化を把握した。

食品の安全性に関心があるかという設問について、「大変関心がある」、「関心がある」という回答の合計は、2008 年 3 月より減少傾向にある（図 14）。また、食品の安全性に不安を感じるかという設問について、「大変不安を感じる」、「不安を感じる」という回答の合計も同様に、2008 年より減少傾向にある（図 15）。さらに、2008 年 1 月に発生した中国産冷凍ギョウザ食中毒事件の報道後、中国産の食品を買い控えたかという設問について、「現在も買い控えている」という回答も減少傾向にある（図 16）。

なお、本調査では、平日の夕食に自炊の準備をする場合に気にする点を聞いているが、2007 年調査においても、食品表示で確認する項目を聞いている。両者で設問の形式は異なるため、単純に比較はできない

が、回答の分布について確認した。

価格や産地については、両年ともに消費者に重視されている項目であった（図 17、図 18）。また、食品添加物の方が遺伝子組換えよりも、2007 年には確認される食品表示であり、本調査でも気にされる割合は高かった。参考として、2007 年に遺伝子組換えの食品表示を確認すると回答したのは 65.6%であり、本調査で自炊の準備をする際に遺伝子組換えか否か気にすると回答したのは 45.1%であった。

I-3. 考察

食品の安全に関心がある層、食品の安全に不安を感じる層はともに 7割程度であった。GM 食品への抵抗感は 5割程度であり、2016 年調査と同程度であった。

農薬や食品添加物と比べると低い値であったが、平日の夕食で、遺伝子組換えか否かを気にすると 4割以上が回答した。外食の場合に遺伝子組換えの食材か否かを確認することは困難であるが、自炊の場合と外食の場合でほとんど差はなかった。食生活の形態に関わらず、遺伝子組換えについて一定の関心が持たれていることが明らかとなった。

また、食の安全を気にかけるきっかけについては、食品に関する事件の発生が主な理由に挙げられたが、結婚や妊娠・授乳等、ライフステージの変化についても、関心が変容する重要な契機と考えられた。

そして、食品のラベル表示については、5割以上が購入の際に確認しており、遺伝子組換えか否かの表示にも約 3割が関心を示した。一方で、遺伝子組換え「不分別」の意味を知っていると回答したのは、1割程度に留まった。意味を知らない層では、意味を知っている層と比べて、不分別の場合に遺伝子組換えの原材料が含まれる割合

をより低く回答する傾向にあった。一方で、全体では、遺伝子組換えの原材料が含まれている割合について、分からないと回答したのが 52.8%であることから、一般消費者は正確な知識をもって、遺伝子組換えに関する食品表示を確認できているわけではないと考えられる。

さらに、過去からの消費者意識の変化については、2008年3月以降、食品の安全性への関心・不安ともに減少傾向にあった。2008年1月に発生した中国産冷凍ギョウザ食中毒事件の報道から時間が経過するにつれて、買い控えも減少していることが明らかとなった。食品を購入する際に確認する項目では、2007・2016年ともに、遺伝子組換えよりも食品添加物の方が少し重視される傾向にあった。

II. 新たな説明ロジックおよび説明ツールの開発

遺伝やバイオテクノロジーに関するリテラシーに対して、その基礎的な知識の有無が影響を与えると考えられる。現在の高校生物の教科書では、GM技術に関してかなり高度な内容が含まれており、高校レベルの生物の知識があれば、GM技術の基礎的な理解ができると考えられる。

一方で、生物は必修科目ではなく、すべての人が履修しているわけではないため、高校までの教育課程において、学習指導要領の変化や選択科目の違いにより、GM技術についての学習状況に差が生じ、GM食品の受容性に影響を与えている可能性がある。また、必要な知識があってもGM食品の理解のためには、複数の単元の知識を結び付けて考える必要がある内容もあり、個人の論理的思考能力も大きく影響する。

例えば、GM食品を摂取しても、消化吸収される過程で、DNAも含めてタンパク質や脂肪、糖、アミノ酸等に分解されるため、組み換えられたDNAはそのままの形で体内に残存しないことが理解できれば、non-GM食品とGM食品に安全性の差はほとんどないと判断に結び付くが、これはDNAの構造に加え、消化吸収メカニズムの知識も結び付けないと、判断できない事項である。

以上を踏まえ、昨年度実施した、GM技術の学習状況、その内容の定着状況、およびGM技術および食品の受容性に関するアンケート調査について、分析を行った。

II-1 研究方法

(1) アンケート調査

一般消費者に対するWebアンケートを実施した。Webアンケートの実施要領は下記のとおりである。

- 調査実施日：2016年3～4月
- 有効回答数：1,273人
- 回収率：79.9%
- 方法：Webアンケート
- 調査項目：
 - 履修した学習指導要領の区分
 - 生物の学習状況
 - 学習内容の理解（覚えているか）【テスト形式】
 - GM食品の安全性の理解（リテラシーがあるか）
 - GM食品の情報源信頼性
 - GM食品（作物）の受容性/GM食品の利益・リスク認識に対する態度・判断
 - GM食品の購買判断 等

なお、サンプルの構成は、学習指導要領が現指導要領以前に3世代にわたって改定されていることから、対象者を旧々々・旧々・旧課程学習者に分け、各課程で履修状況（生物Ⅱ相当を学習、生物Ⅰ相当を学習、生物を学習していない）、年齢

（旧々々課程では40歳と45歳、旧々課程では30歳と35歳、旧課程では20・21歳¹と25歳）性別で均等割り付けした。各課程で400サンプルを目標に回収した結果、計1273サンプルの有効回答を得た。

Ⅱ-2. 研究結果

(1) 食品を購入する際に重視する項目 (図 19)

食品を購入する際、GMでないかを重視している人は、全体で52.1%である。新鮮かどうかを重視する人が最も多く

(86.5%)、ついで味の良さ(86.1%)、価格の安さ(83.3%)である。

GMで無いかどうか(52.1%)は、農薬が少ないか(54.0%)と食品添加物が含まれていないか(51.6%)の間に位置している。

(2) GM食品への抵抗感 (図 20、図 21)

高校生物の履修状況別では、生物Ⅱ・生物(発展的内容)学習者であっても、50%以上が、遺伝子組換え作物・食品を国内で生産することや、遺伝子組換え食品そのものに対して抵抗感を持っている。

履修課程ごとの分析では、年齢が上になる履修過程が古い人ほど遺伝子組換えに対する抵抗感が高く、旧々々課程(40代)

で60%以上が遺伝子組換えに対する抵抗感を持っているのに対し、旧課程(20代)では40%余りとどまる。

履修内容の難易度よりも、履修課程(世代)によって、抵抗感に差が出る結果となった。

(3) GM食品の摂食意向 (図 22、図 23、図 24)

摂食意向では、GM野菜、肉、魚での差はほとんど見られなかった。

高校生物の履修状況別では、ほとんど差は見られなかったが、生物Ⅱ・生物(発展的内容)学習者と生物を選択していない人で摂食意向が高めの結果であった。

履修課程別では、年齢が上になる履修状況が古い人ほど「食べない」「どちらかといえば食べない」と回答した人が多く、旧々々課程(40代)で70%以上が「食べない」「どちらかといえば食べない」と回答しているのに対し、旧課程(20代)では50%から60%の間にとどまる。

(4) 遺伝子組換え・消化に関する知識 (図 25、図 26、図 27)

DNAが4種類の塩基から構成されることについて、全体の正答率は51.8%であった。

タンパク質が消化酵素によりアミノ酸に分解されることについて、全体の正答率は56.6%であった。

遺伝子組換え食品が体内でどのように消化吸収されるかについては、全体の正答率は41.7%で、不正解者は、組換えられたDNAは、そのまま吸収されると認識している人が多かった。

¹ 若年層はアンケートモニターの登録数が少ないため、十分な有効回答を得るために、旧

課程の一番若い層のみ20歳と21歳を対象とした。

履修内容の難易度が高い程、正答率も高い傾向があるが、履修課程の違いによる意識の傾向はあまり見られなかった。

II-3. 考察

食品を購入する際に重視する事項として、GMかどうかは最も重視される事項ではないが、農薬や食品添加物といった、一般的にリスクとして認識されている内容と同程度に重視されている。価格や、新鮮さ、味等の品質情報と比較すると重視されていないが、品質が同程度の食品と比較した際に、できれば避けたいリスクとして認知されている可能性が高い。

また、履修別の傾向については、履修難易度（生物に対するリテラシー）での差はあまり見られず、課程別（年代）での差が大きかった。

単に年齢による影響のほか、年齢特有のライフイベント（結婚、出産、育児等）の影響等、年齢によるGMに対する受容性の差の要因が存在する可能性がある。

II-4. 説明ツールの開発について

昨年度までの調査結果を踏まえて、消費者にGM技術とその食品への応用、安全性の理解を促す説明ツールの開発も同時に試みてきた。しかし、昨年度までに試みた結果は、専門家および政策側の方々の様々な意向を踏まえながら修正を繰り返したことによって、本来、消費者に理解してほしいポイントがずれてしまった感がする。また、医療イラストの専門家とも検討してきたが、何を描いてほしいかをはっきりとさせる必要があるとの指摘であった。

例えば、「CRISPR Cas9という技術について、消費者に分かりやすく描いてもらいたい」では何をポイントとして描くのか、何を簡単にしたらいいのかを捕まえにくく描きづらい

とのことである。1)CRISPR Cas9のメカニズムだけを分かりやすくしたいのか、2)その技術の安全性を訴えたいのか、3)自然界で起こることと同じであることを説明するのか、環境への影響、どのように生活に入ってくるのか（入っているのか）等々はどうするのかを決め（ストーリー作り）、その上で、消費者の年代別などを考えたイラストの描き方が必要である。年代もティーンエイジャーから20代半ばならアニメーションの利用も考えられるが、40代以降にはアニメーションは不適切である。また20代後半から30代、40代前半までは子供の成長などとの兼ね合いを考えたアプローチが、消費者の興味をリスクコミュニケーションに向けることができる。そのため、1つのテーマでも2~3種類のアプローチを用意する必要性が考えられた。

本年度の結果を踏まえ、イラストのストーリーの作成をし、いくつかの段階に分けた説明と、その対象者と各段階のポイントを絞った説明ツールの作成を引き続き検討する。

III. 先進国や食品以外の分野における事例調査(GMサーモンの報道調査)

過年度の研究より、昨今のGM食品に関する行政の注目すべき動向として、GM動物の評価・管理体制に関する欧米の動きが認められた。特に米国では、GMサーモンが及ぼす環境影響について、重大な影響はないと評価され、FDA（米国食品医薬品局）によって食品利用が承認されたと、2015年11月19日に発表された。今回承認されたGMサーモンは世界で食品として初めて承認されたGM動物であり、我が国においても早急に対応を検討する必要があるものと考えられる。

そこで、昨年度に引き続き、GM サーモンの食品利用に係る動向やその反響についてレビューを行った。

Ⅲ-1. 研究方法

(1) 米国・カナダの動向調査

AquaBounty 社による GM サーモン (AquAdvantage® Salmon) の食品利用の承認を受け、食品関連企業の動向を調べるために、企業各社の Web サイトを確認し、情報収集を行った。また、メディア各社の GM サーモンに関する報道を調べるために、海外の報道記事等の収集を行った。

(2) EU の動向調査

平成 29 年 2 月 2 日に農林水産省の研究班が開催した「ゲノム編集に関する米欧の現状に関する意見交換会」に参加し、NBT に関する欧州の最新動向について情報収集を実施した。

セミナーの開催概要は下記の通りである。

- 開催日時：平成 29 年 2 月 2 日（木）13:30～15:30
- 開催場所：農林水産省農林水産技術会議委員室
- 講師：
 - Jean-Christophe Pages 氏、フ

² An Act establishing the genetic engineering transparency food labeling act

³ People want GMO food labeled — which is pretty much all they know about GMOs https://www.washingtonpost.com/news/energy-environment/wp/2016/07/21/people-want-gmo-food-labeled-which-is-pretty-much-all-they-know-about-gmos/?utm_term=.8e4e7f84a912
Congress OKs bill requiring labels for

ランスバイオテクノロジー高等審議会科学委員会委員長

- Jennifer Kuzma 氏、ノースカロライナ大学教授、Genetic Engineering and Society Center 共同代表（体調不良のため欠席。コーディネーターより発表予定内容の概要が紹介された）

Ⅲ-2. 研究結果

(1) 米国・カナダの動向調査

①米国

2015 年 11 月 19 日に、FDA が GM サーモンの生産・販売を承認し、米国メディアでも大きく報道された。GM サーモンについて、FDA は栄養価が通常のサーモンと等しい等の理由から、遺伝子組換えの表示を義務付けていない。しかし、2016 年 3 月末～4 月、表示を義務付ける法案が米国マサチューセッツ州の議会等を通じた²。このように、GM 表示を巡る米国各州の動きが活発化したことを背景に、州毎に表示が異なることへの対応が必要となった。このことから、2016 年 7 月 29 日に、遺伝子組換え食品表示義務化法案（通称「GMO 表示義務法（S. 764）」）にオバマ大統領が署名したことを Boston Globe、NY Times、Washington Post 等各新聞社が報道している³。この法案によ

genetically modified foods

<https://www.bostonglobe.com/business/2016/07/14/congress-oks-bill-requiring-first-gmo-food-labels/qOglugWMxGwTaluSuo6gDL/story.html>

G.M.O. Labeling Bill Gains House Approval

<https://www.nytimes.com/2016/07/15/business/gmo-labeling-bill-gains-house->

り、米国全土で販売される食品に GM 表示が義務化され、メーカーは遺伝子組換え食品の パッケージに①「遺伝子組換え原料を含む」ことの表示、②遺伝子組換え作物が含まれていることが理解できるようなシンボルマークの表示、③スマートフォンで読み込める QR コードによるインターネット上での詳細の明記、これらのいずれかの義務を負うことになった。

食品関連企業の動向としては、FDA による GM サーモンの承認後、2 社 (Costco 及び Safeway) で自社ホームページ等において、GM サーモンを取り扱わない旨の表明がされている。具体的な表明内容については、以下の通りである。

- Costco⁴
 - ‘Although the FDA has approved the sale of GM salmon, Costco has not sold and does not intend to sell GM salmon at this time.’
 - 「FDA が GM サーモンの販売を承認したが、Costco は GM サーモンを販売しておらず、現時点では販売するつもりはない」
- Safeway⁵
 - ‘While the FDA approved GE salmon for human consumption in November of 2015, we are not considering nor do we have any plans to carry GE salmon.’
 - 「2015 年 11 月に FDA が GM

[approval.html? r=0](#)

⁴ http://webiva-downton.s3.amazonaws.com/877/4d/7/6857/Costco_GMO_salmon_statement.pdf

⁵ <http://csrsite.safeway.com/home/report-overview/position-statements/>

サーモンの消費を承認したが、我々は GM サーモンを提供するつもりはなく、その予定もない」

また、国際環境 NGO 「Friends of the Earth (FoE)」は、食料品店・海産物取引企業・レストランに対して、遺伝子組換え海産物を取り扱うか否か調査をしており、取り扱わない旨表明している企業のリストを公表している (図 28)。本リストには、Costco 及び Safeway の 2 社も記載されている。

そして、PRNewswire は、GM サーモンの開発を行った AquaBounty 社が 2017 年 1 月 19 日に NASDAQ に上場したことを報道している⁶。アメリカ市場への株式公開によって、さらに食料生産の戦略が広がるとしている。NASDAQ 上場の背景には 2016 年 11 月の親会社の Intrexon との会社分割の決定があり、AquaBounty 社の株の売却によって 2,500 万ドルの資金調達となされ、条件として NASDAQ 上場の書類手続きが行われた。この資金調達によって、少なくとも 2 年間は GM サーモン展開戦略を進めるための資金が賄われ、北米での新しい生産施設の建設等が検討されている。

②カナダの動向調査

AquaBounty 社のサーモンの卵の輸出期限に間に合うように、同社からカナダ食品検査庁は安全評価試験を急かされ、試験を急いで実施した可能性があることが、政府

⁶ AquaBounty Announces Completion of NASDAQ Listing and Equity Subscription from Intrexon
<http://money.cnn.com/news/newsfeeds/articles/prnewswire/NE91744.htm>

の書類から明らかになったと **Canadian Broadcast Corporation** (カナダ放送協会) が報道している (報道日: 2017年1月11日)⁷。カナダ食品検査庁はサーモンの卵に対して輸出前に4つの疾病の検査を実施したが、2016年3月の輸出期限が迫る中で **AquaBounty** 社の問い合わせに急かされ、試験の早急対応を迫られたようである。**AquaBounty** 社のコメントとしては、不当に圧力をかけたことは否定しており、卵の貯蔵寿命に応じてカナダ食品検査庁に適切な時期に仕事を完了してもらえよう要請しただけだと述べている。これに対し、カナダの GM 反対運動団体「**Canadian Biotechnology Action Network**」は、政府の仕事は **AquaBounty** 社の商品が流通できるようにすることではなく、食品の安全な提供を保証することだと見解を述べている。

また、**AquaBounty** 社への販売認可に対して消費者保護団体の「**Ecojustice**」、「**Living Oceans Society**」、「**Ecology Action Centre**」がカナダ政府に対して上訴をしていたが、2016年10月21日にカナダの連邦裁判所で消費者保護団体側の訴えが棄却されたと **Radio Canada International (RCI)** によって報道されている (報道日: 2016年11月8日)⁸。消費者保護団体側の主張としては、政府の認可方法が政府の環境規則 (**Canadian Environmental Protection Act**) に則っていなかった点や、他種の動物に GM の可能性を広げる懸念を挙げていた。訴えが棄却されたため、今後の消費者保護団体の動

きとして、さらなる裁判所への提訴が可能かどうか注視され、もし不可能であれば一般家庭への GM 食品の周知方法や、ラベル表示の必要性について言及するだろうとの考えを述べている。

(2) EU の動向調査

EU の **New Technology Working Group (NTWG)** によるレポートでは、科学的には **European Commission (EC)** 指令 (2001/18/EC) において判断するのが適切との評価結果を提出している。その後、政治的な結論はまだ出ていない。

EU の大多数の専門家の意見は、**ZFN-1** と **ZFN-2** により作出された生物は **GMO** であるが、規制対象からは除外されるべきであるというものである。**ZFN-1** と **ZFN-2** による結果は、従来育種で発生する突然変異と区別できないためである。

NTWG によれば、以下は **GMO** として規制すべきでないとしている。

- オリゴヌクレオチドによる突然変異
- **ZFN-1**、**ZFN-2** (組換え遺伝子を含むものを除く)
- GM の台木に接木して **non-GM** の部分に生じた果実等
- アグロインフィルトレーション
- メチル化によるもので DNA に次世代に遺伝する変異が起きていないもの
- リバースブリーディング

フランスでは **Haut Conseil des Biotechnologies (HCB)** バイオテクノロジー

⁷ CFIA fast-tracked tests on genetically modified salmon eggs for exports, documents suggest <http://www.cbc.ca/news/politics/genetically-modified-salmon-cfia-aquabounty>

1.3929571

⁸ Radio Canada International <http://www.rcinet.ca/en/2016/11/08/another-setback-for-groups-opposed-to-gm-salmon/>

一のための高等委員会)で検討を行った。政府から HCB に以下の点が質問された。

- ゲノム編集による産物の検査ができるのか
- 使用された技術が特定できるのか
- 産物を区別するための特定方法
- ゲノム編集されていない作物との共存
- 技術のリスク
- 緩和策、改善策
- 商業化される前に可能な特定方法

また、以下のリスクについて議論した結果、実際に作出された植物の特徴でケースごとに判断すべきと考えている。

- オフターゲット操作について（頻繁に起こる可能性がある点、局所化する可能性がある点）
- ベクターの使用について（痕跡が残るか、影響があるか）
- SDN の容易性について（変異の加速化、予期せぬ新たな特質、新種の創出、新たな機能を多発的にもたらす）

III-3. 考察

(1) 米国・カナダの動向調査

マサチューセッツ州をはじめとする各州で GM 表示を義務付ける法案が作成されていることを受け、食品関連企業も対応が迫られていることが窺える。実際に、FDA による GM サーモンの承認後、2 社 (Costco 及び Safeway) で GM サーモンを取り扱わない旨の表明がなされている。

今後注目すべき動向として、「GMO 表示義務法 (S. 764)」の成立以降の小売業者の対応が挙げられる。この法律は各州の

法律で細かく定められた表示法に比べ、スマートフォンで読み込める QR コードの表示だけでも良いという点から消費者保護団体からの反発が強く、表示方法として主張が弱いという懸念が上がっている⁹。小売業者はこれを受けて GM 食品マークを自社販売製品に表示するか、バーコードで済ますかの選択を迫られることとなる。

また、AquaBounty 社が新興企業向け株式市場である NASDAQ に上場したことで、AquaBounty 社の資金調達はよりスムーズに進み、戦略の幅が広がると考えられる。それに加え、GM サーモンの生産源としての認知度が上がり、今後さらなる注目を浴びることが予想される。これによって、GM 食品の問題がさらに広く社会の関心を集め、取り上げられる可能性がある。

カナダ連邦裁判所での訴えの棄却により、今後の論点として GM 食品の表示方法が注目されると想定される。一方で、カナダ食品検査庁の安全評価試験のように、糾弾の対象となり得る事実が明らかになると、消費者の不安につながりかねないため、関係団体は慎重に GM 食品の生産販売の手続きを踏むことが予測される。

(2) EU の動向調査

NBT について科学的な検討結果についての結論は提出されており、それを受けてどのような枠組みで管理・規制を行っていくかという政治的な結論がまだ明確になっていない。これは、2015 年から変わっておらず EU 内でも GM は難しい問題でこの着状態であることが伺える。

一方で、米国では NBT については規制

⁹ President Signs Law That Overturns Vermont GMO Labeling Rules, Replaces Them With Barcodes
<https://consumerist.com/2016/07/29/preside>

nt-signs-law-that-outlaws-vermont-gmo-labeling-rules-replaces-them-with-barcodes/

対象とせず実用化が進み、NBT を用いた生物ですでに承認されているものもある。

ある国では規制対象外となり普及、環境放出が進んだ生物で、別の国では規制対象となるという自体が発生しうる可能性が高くなってきている。

今後国際的に足並みをそろえた対応を行うことが必要不可欠であり、対応を定めるために国民の理解を得る必要がある。そのために、リスクコミュニケーションが喫緊の課題である。

C. 結論

日本の消費者は、GM 食品に対して添加物、農薬と大体同じ程度で気にしており、添加物、農薬に対する一般的な消費者の対応を考えるとリスクとして捉えられていると考えられる。「遺伝子組換え不分別」という表示の意味なども内容は理解されず、避けられているというのが実態である。

食の安全性を気にかけるきっかけとしては、食品に関する事件の発生が主な理由であるが、結婚や妊娠、育児などのライフイベントも契機となっている。きっかけとなるライフイベントを対象として、それぞれの関心に応じた適切な情報提供を行っていくことが、有効な手段となる可能性がある。

GM の登場以来、消費者の受容性はあまり変化しておらず、それは EU でも NBT をめぐる対応を見ていると同様であることが伺える。しかし、育種に関する技術は近年めまぐるしく進歩しており、NBT や GM サーモンなど新しい技術や GMO が登場し、各国の規制の方向性が統一・確定されない状況で実用化は進んでいる。

新たな技術を用いた食品については、たとえ科学的な安全性の評価結果に問題は無くても、カナダの食品検査庁のように対応

に瑕疵があると、生物自体も忌避される存在となる。科学的な安全性評価の結果と相応な社会的合意、消費者判断を得られるようなリスクコミュニケーションが喫緊の課題である。

D. 健康危険情報

なし

F. 研究発表：

1. 論文発表

- 1) 高谷幸、山本茂貴、赤羽学、神奈川芳行、鬼武一夫、山口健太郎、池田佳代子、名倉 卓、南谷 怜、一蝶茂人、フードディフェンス 食品防御対策ガイドライン 準拠. 今村知明[編] 2016 年 7 月 22 日.
- 2) K. Komoto, S. Okamoto, M. Hamada, N. Obana, M. Samori, & T. Imamura. Japanese consumer perceptions of genetically modified food: Findings from an international comparative study. *Interact J Med Res* 2016; 5(3), e23, p.1-19.

2. 学会発表・講演

なし

D. 知的財産権の出願・登録状況

なし

I 図表

A 研究目的

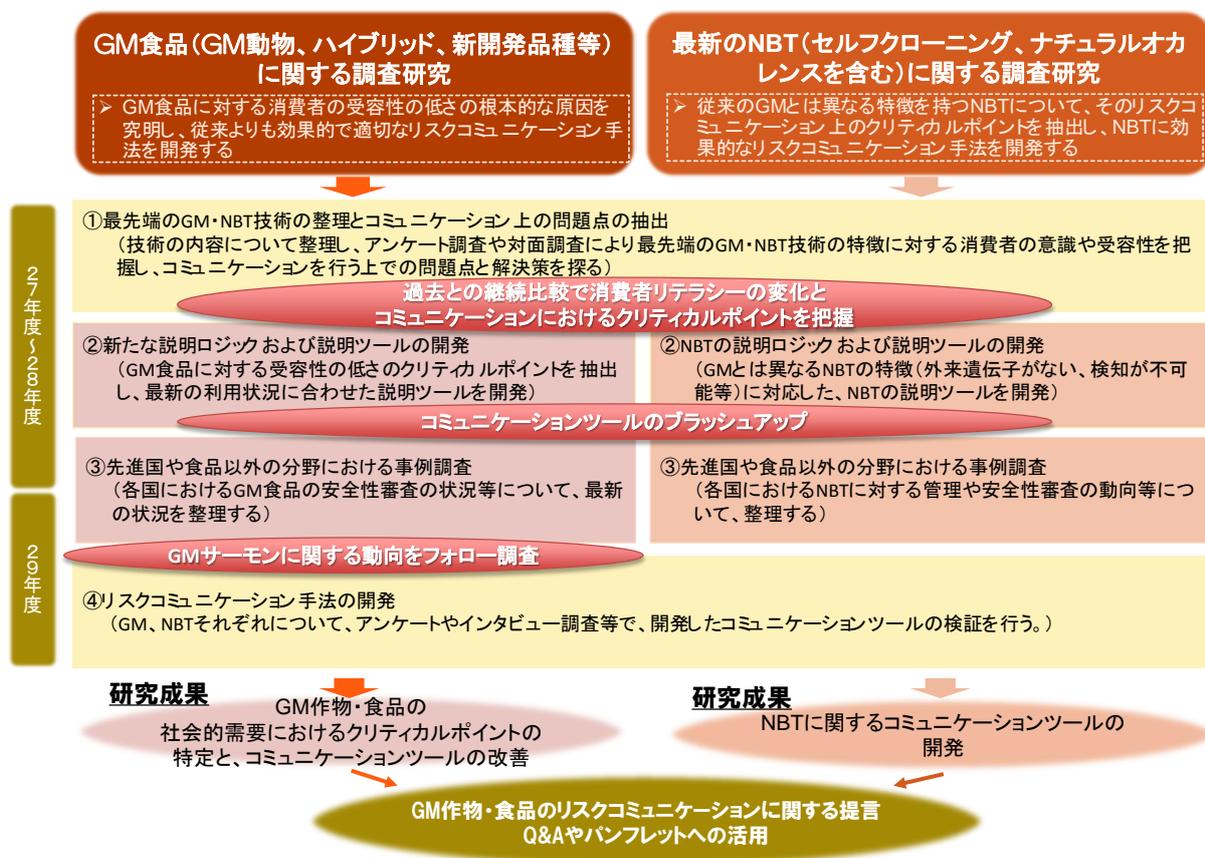


図 1 研究の全体像

B. 本研究の内容

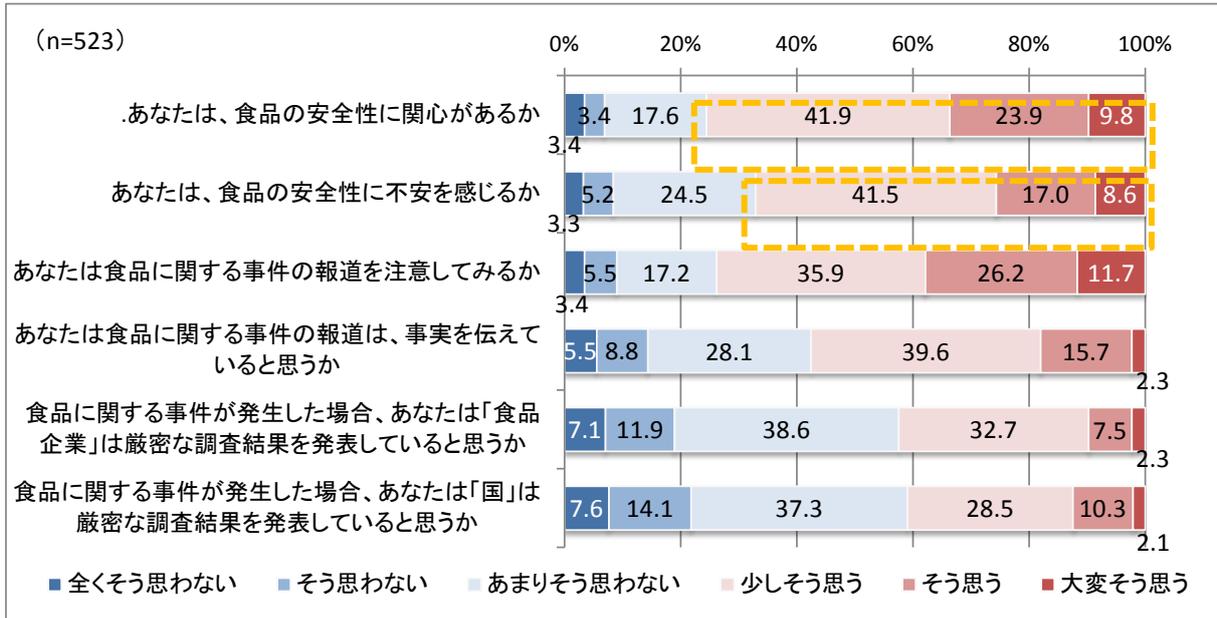


図 2 以下の設問に答えなさい

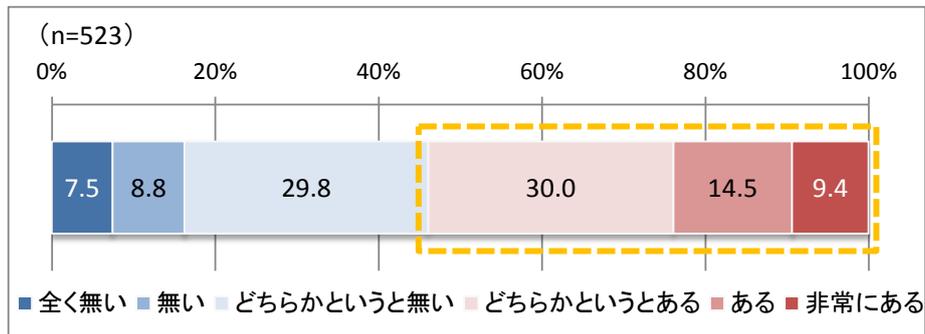


図 3 遺伝子組換え食品に抵抗がありますか

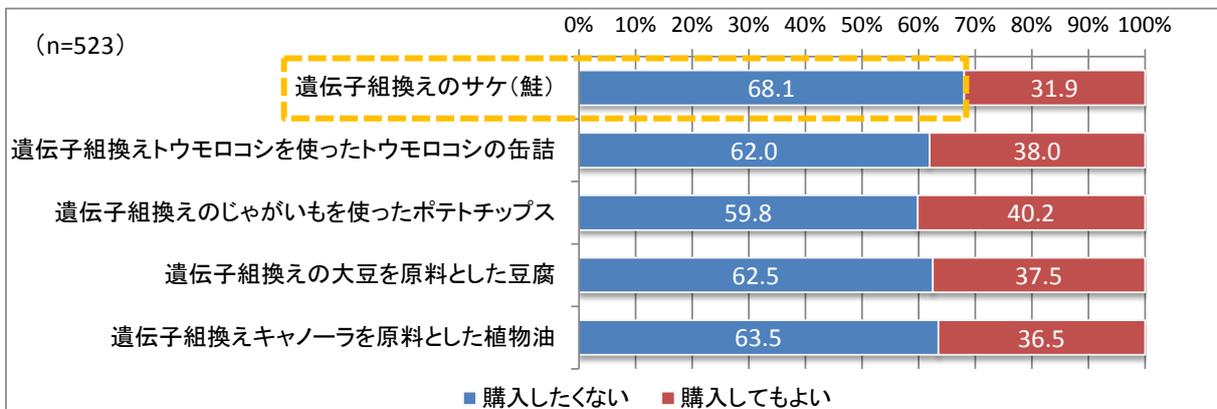


図 4 以下の製品について「購入してもよい」か「購入したくない」かお答えください

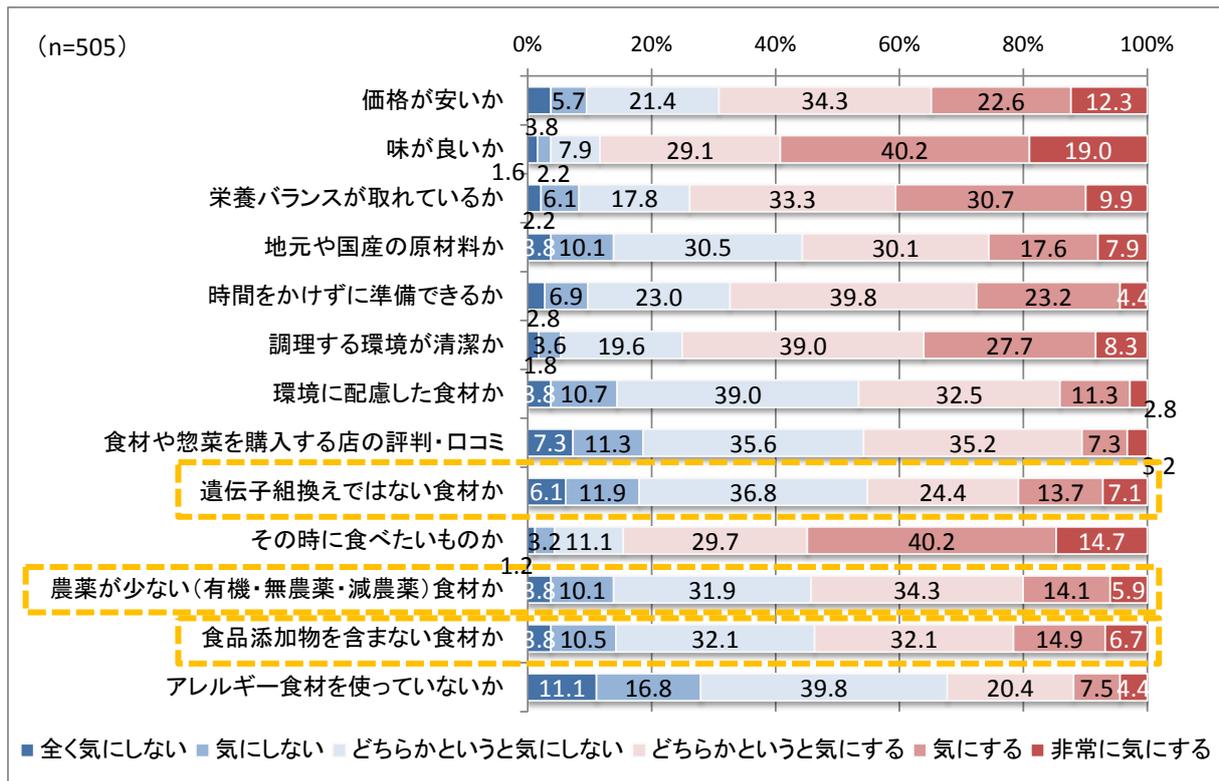


図 5 あなたは、平日の夕食に家で食べる食事を準備する際、以下の点をどの程度気にしていますか

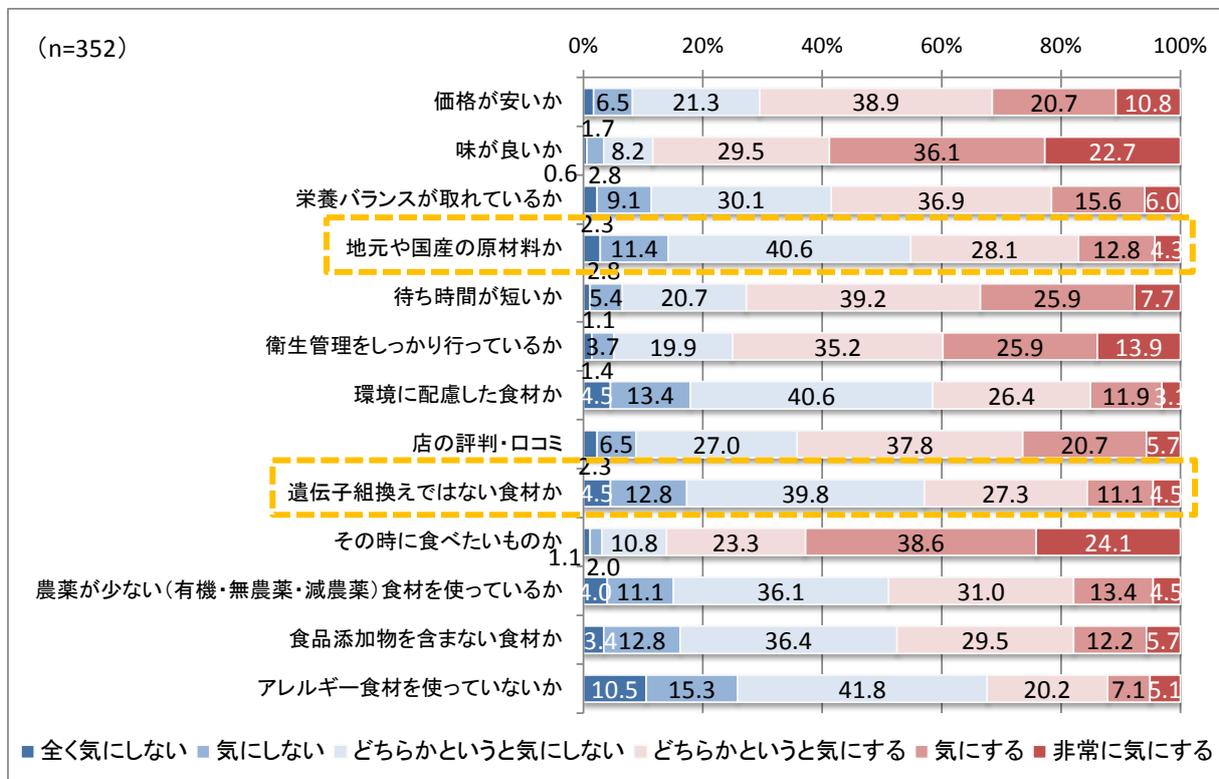


図 6 あなたは、平日の夕食に外食する際、以下の点をどの程度気にしていますか

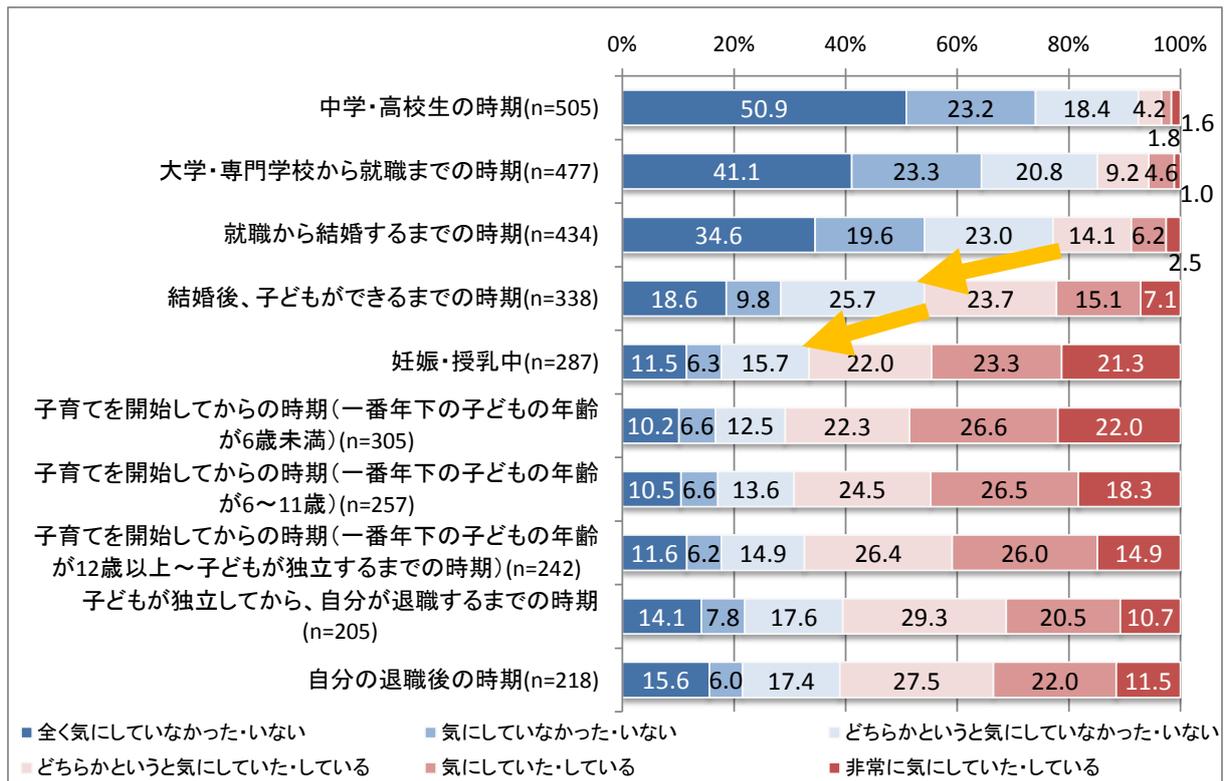


図 7 あなたが下記の年代において、自分が食べるものの安全性をどの程度気にかけましたか

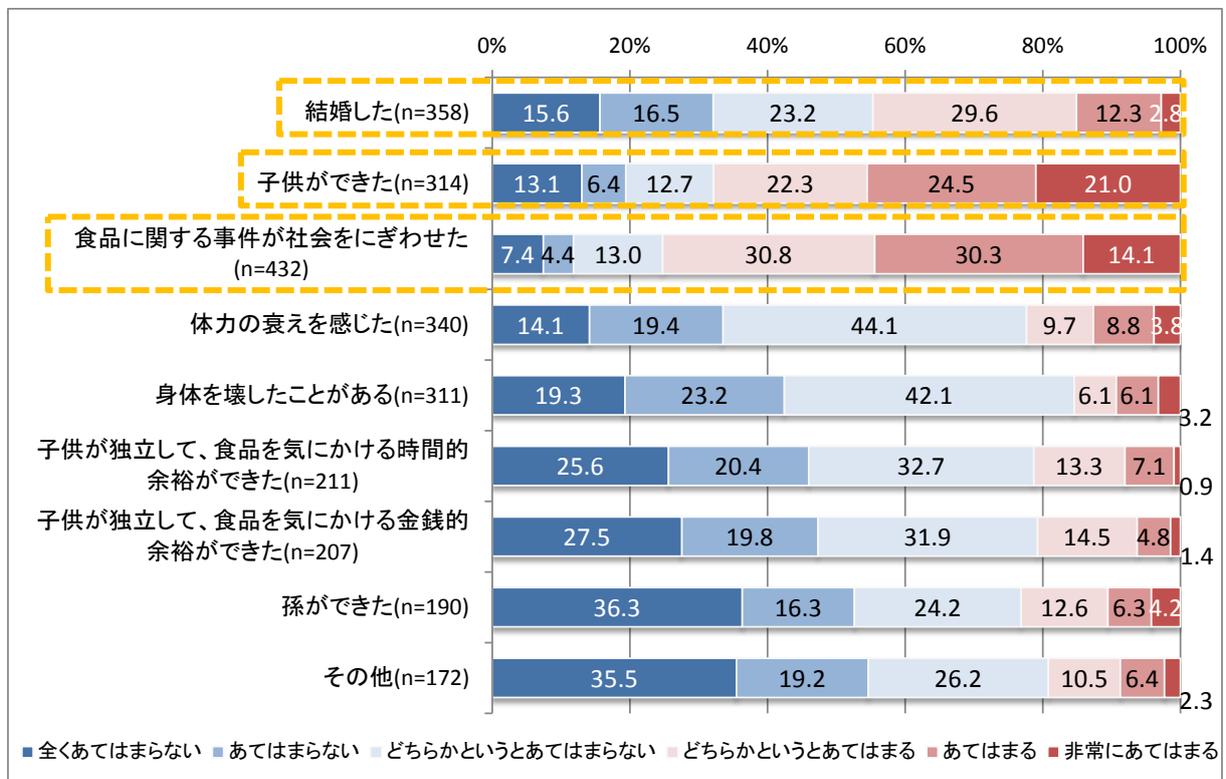


図 8 食品の安全性を気にかけるきっかけは何でしたか

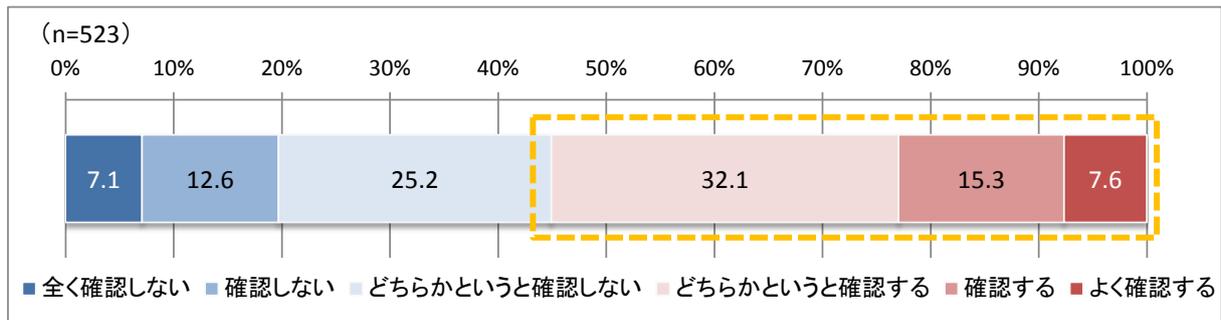


図 9 あなたは食品を購入する際、原材料や栄養成分が記載されたラベルを確認しますか

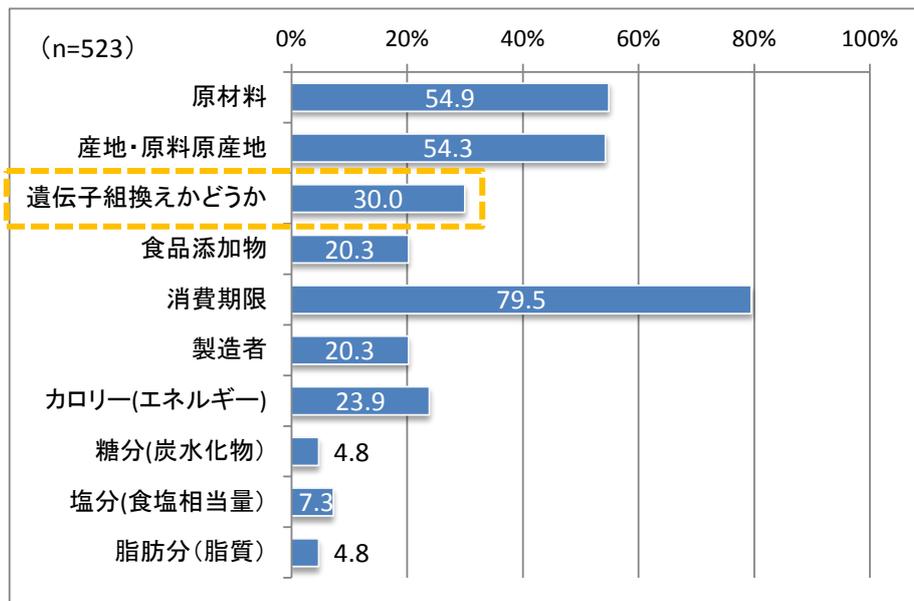


図 10 豆腐を想定して、食品ラベル表示でもっとも重視するものを3つお答えください

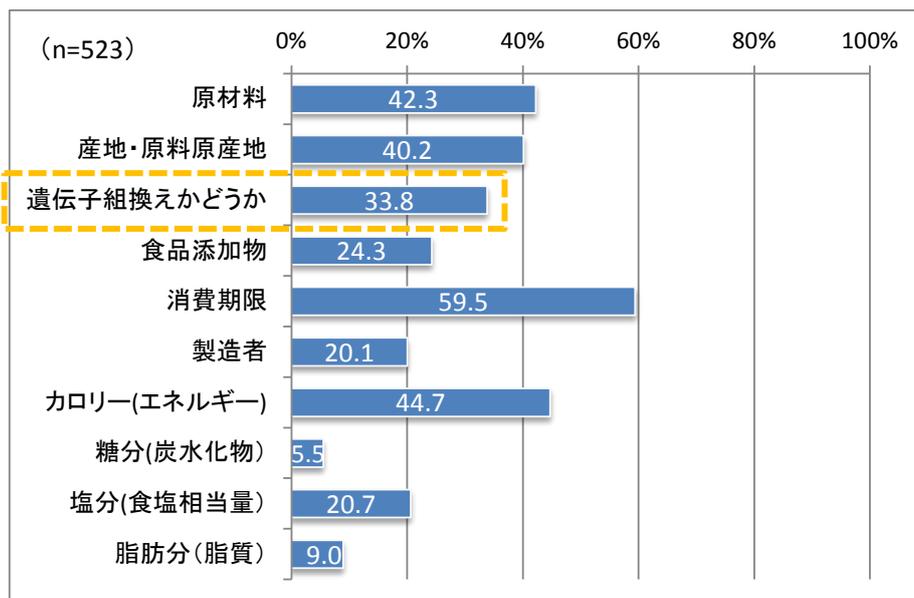


図 11 ポテトチップスを想定して、食品ラベル表示でもっとも重視するものを3つお答えください

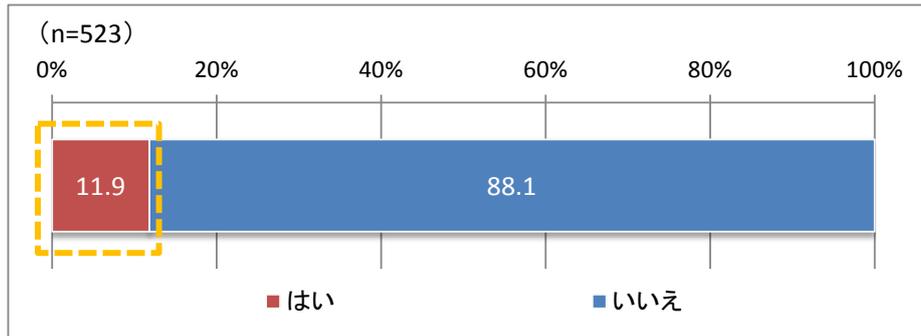


図 12 食品ラベルに「不分別」と表示されているものがあります。あなたは「不分別」がどういう意味かを知っていますか

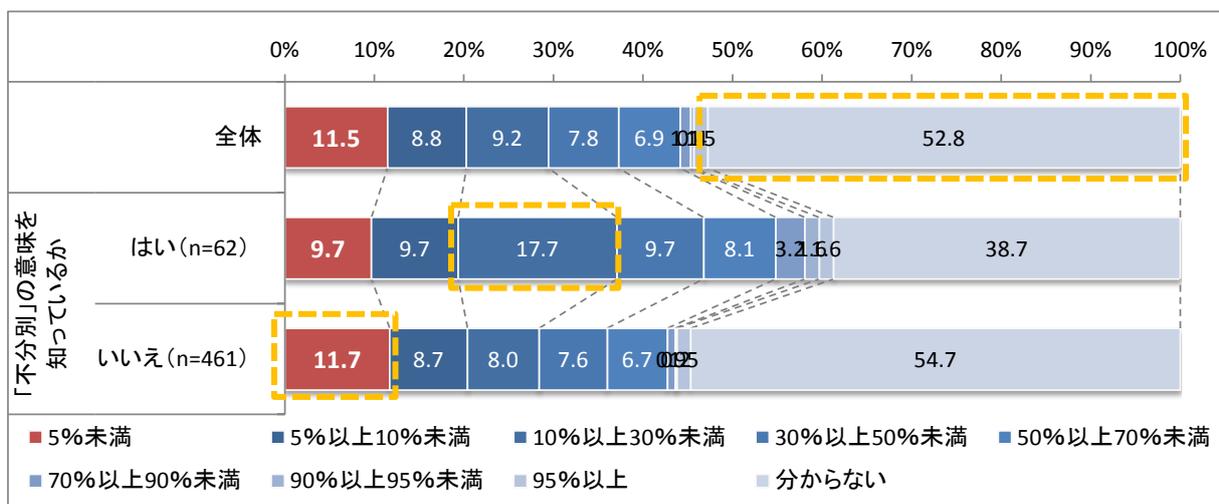


図 13 遺伝子組換え不分別の食品には、どの程度の割合で遺伝子組換えの原材料が含まれていると思いますか

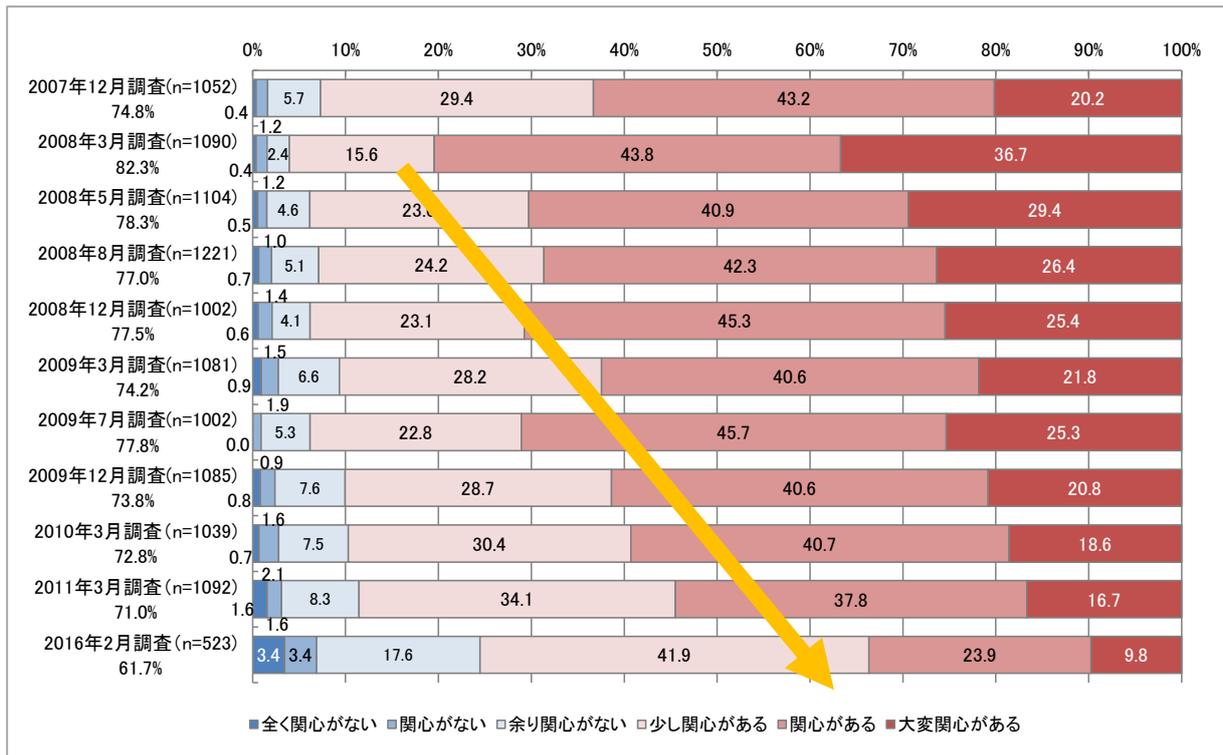


図 14 あなたは、食品の安全性に関心がありますか

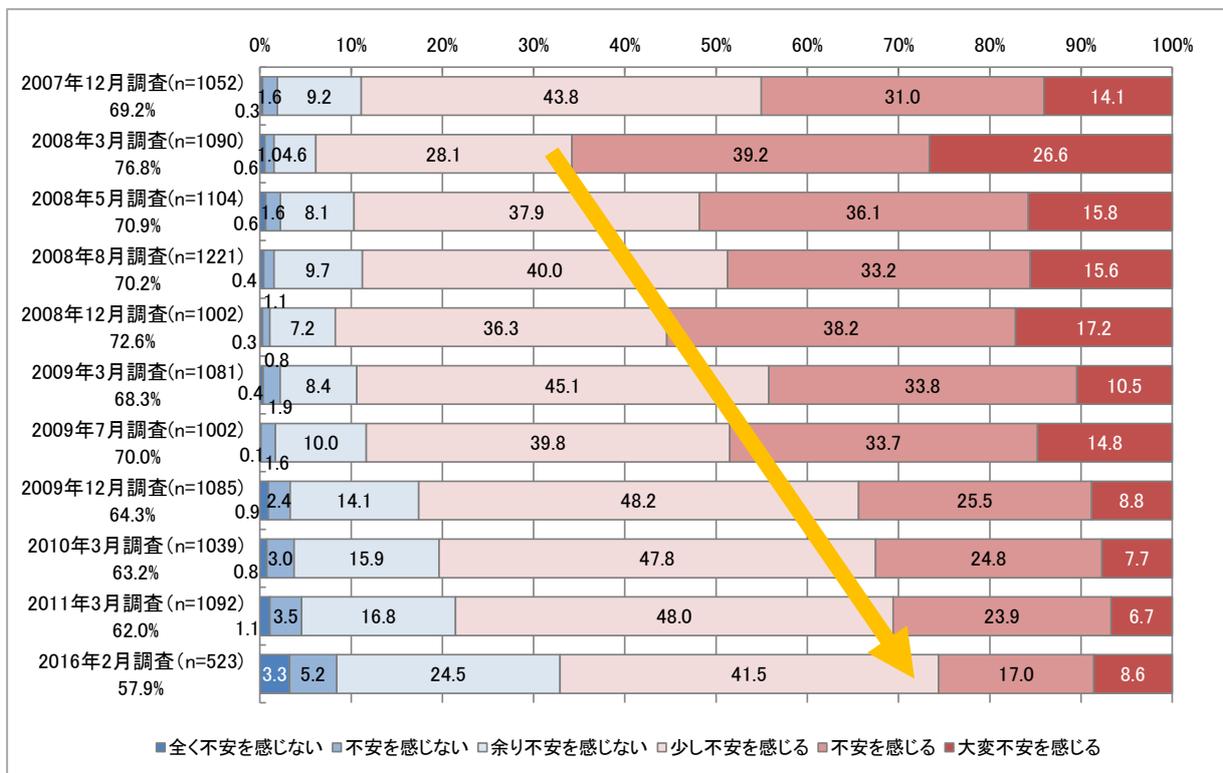


図 15 あなたは、食品の安全性に不安を感じますか

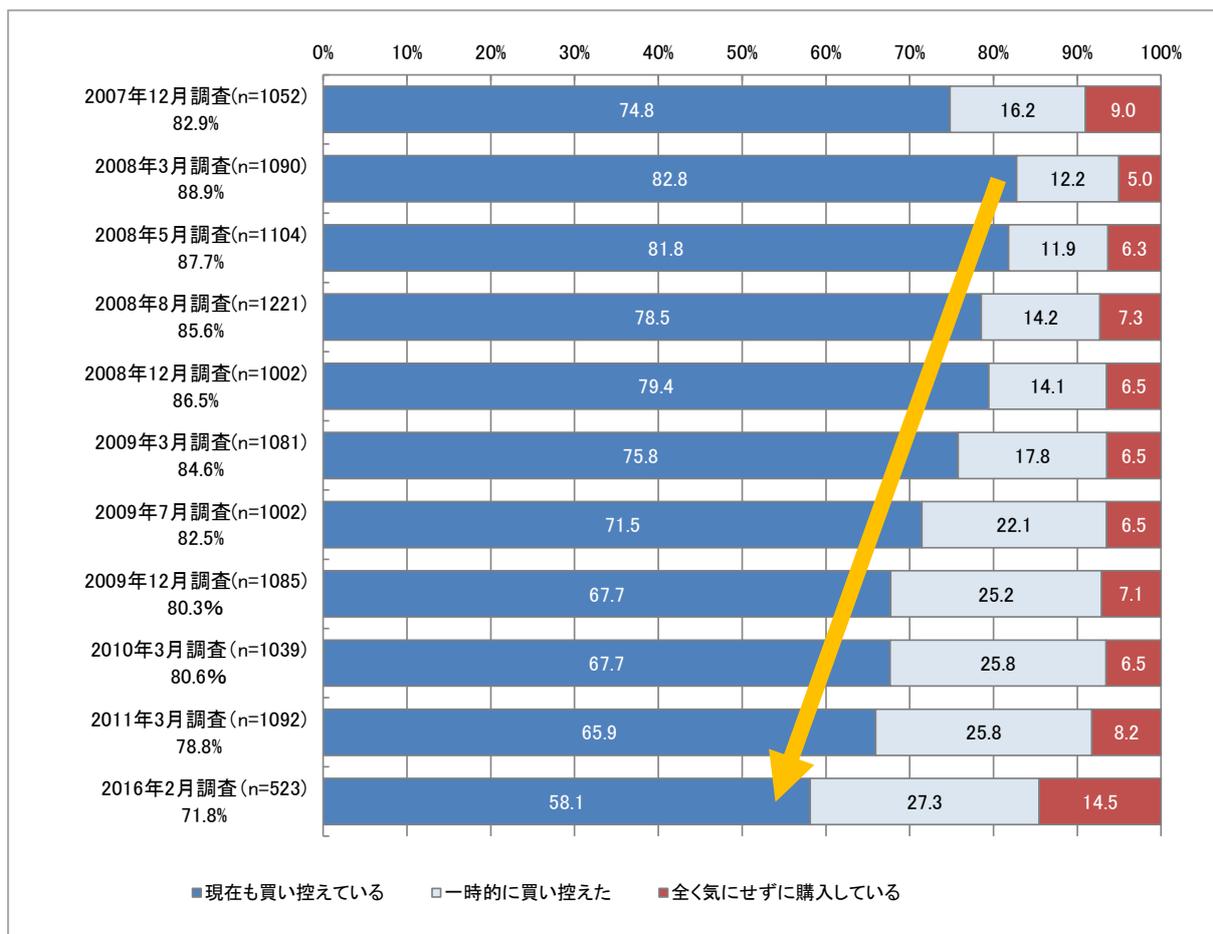


図 16 中国産の冷凍ギョウザによる食中毒事件の報道後、中国産の食品を買い控えましたか

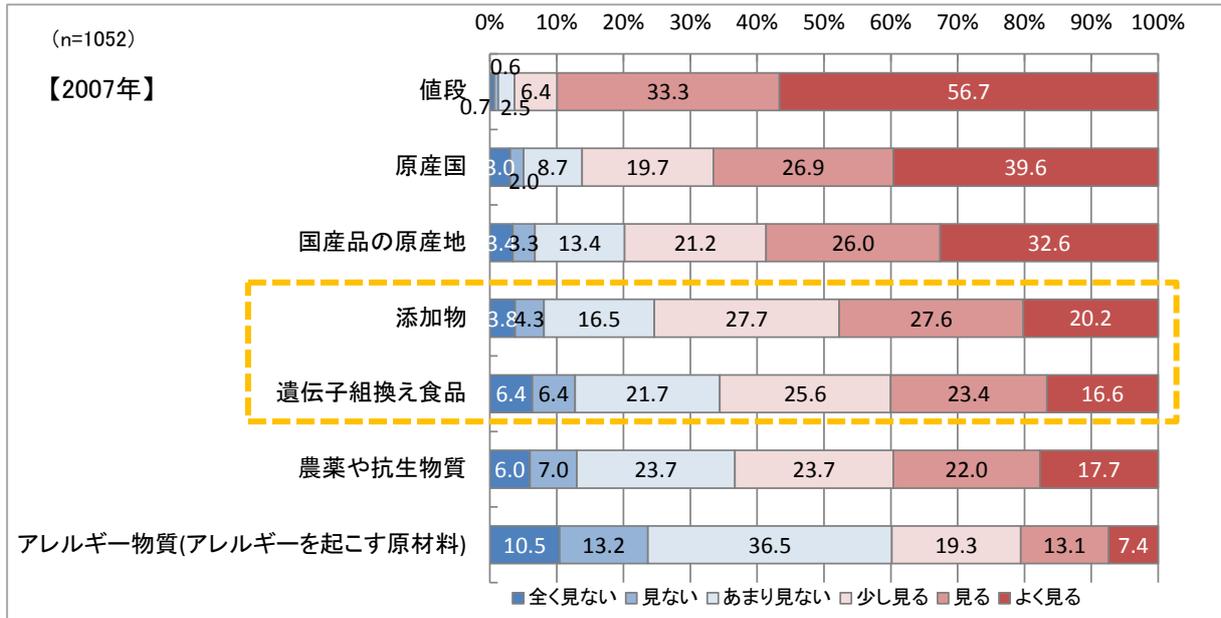


図 17 あなたは、食品の表示を見る場合には、どの項目を見ますか

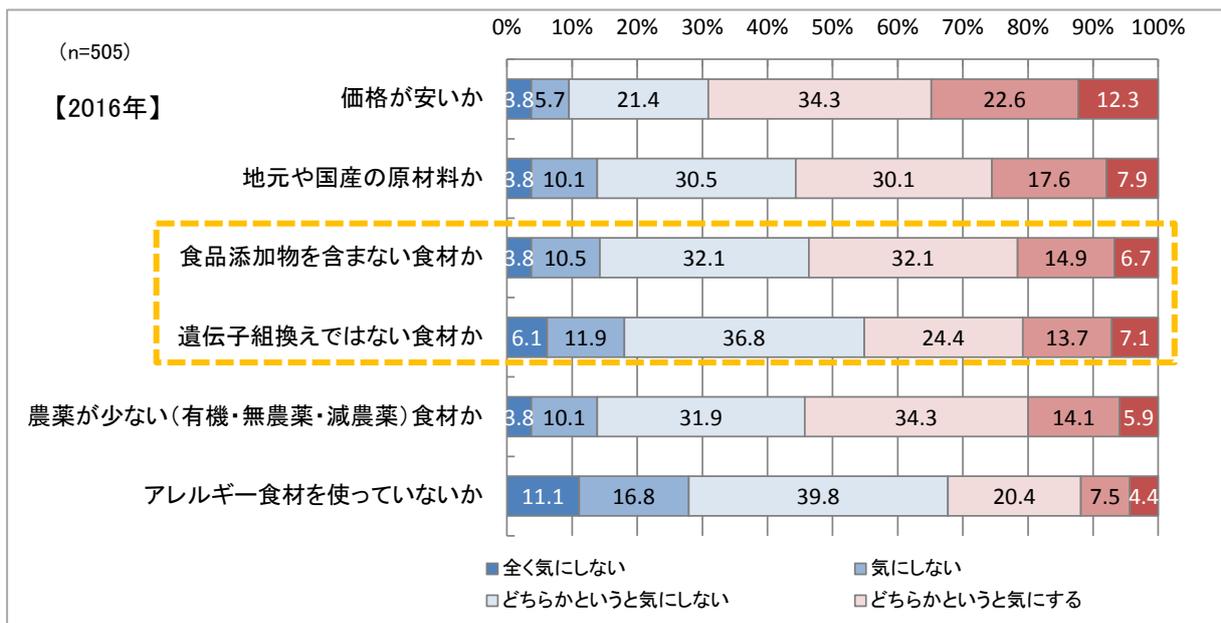


図 18 あなたは、平日の夕食に家で食べる食事を準備する際、以下の点をどの程度気にしていますか（一部抜粋）

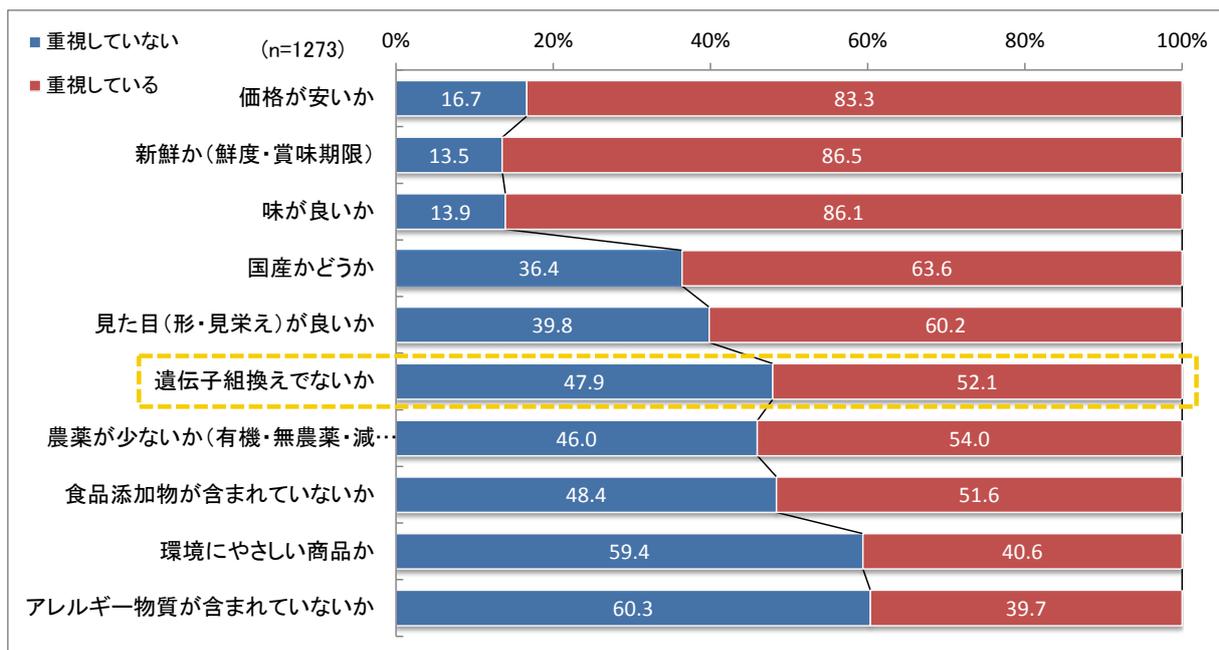


図 19 あなたは普段食品を購入する際、以下の点を重視していますか

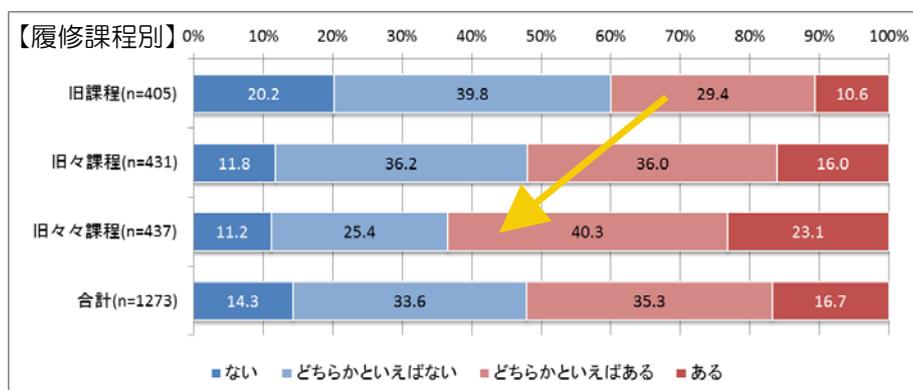
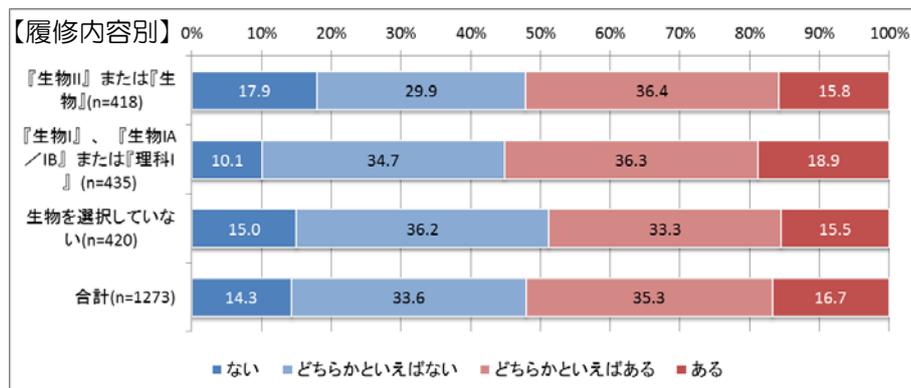


図 20 遺伝子組換え作物・食品を国内で生産することにあなたは抵抗がありますか

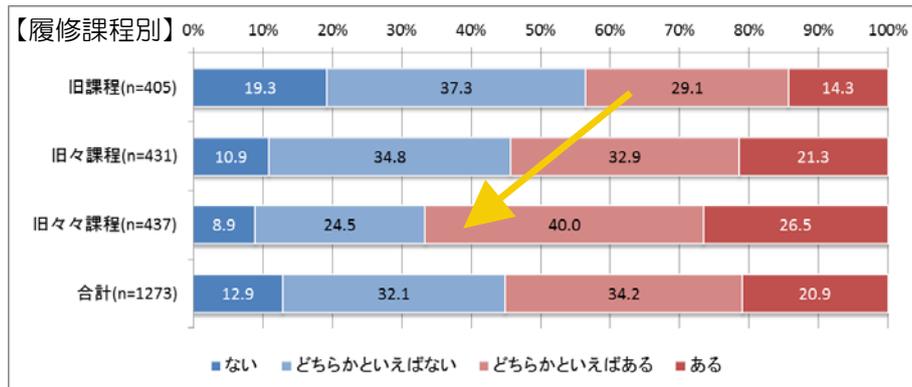
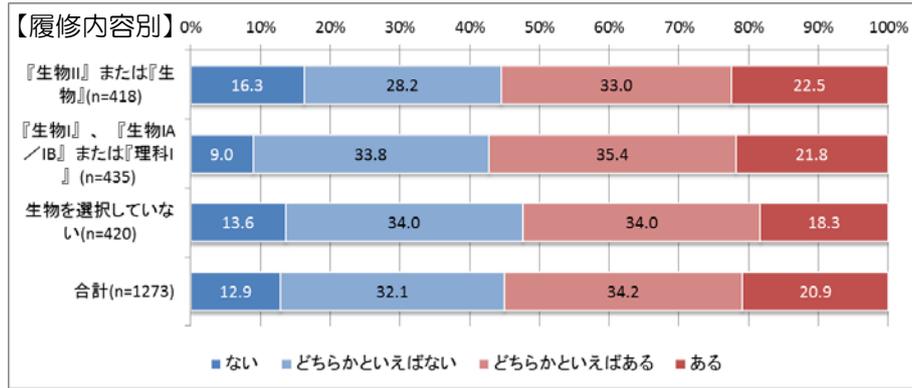


図 21 遺伝子組換え食品に抵抗がありますか

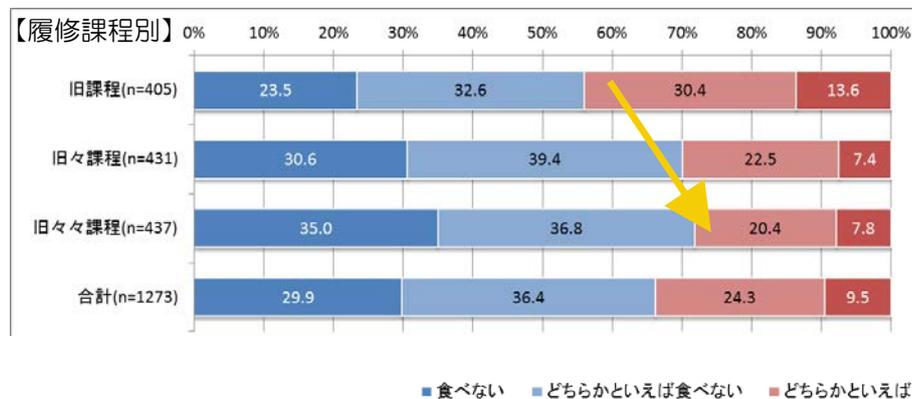
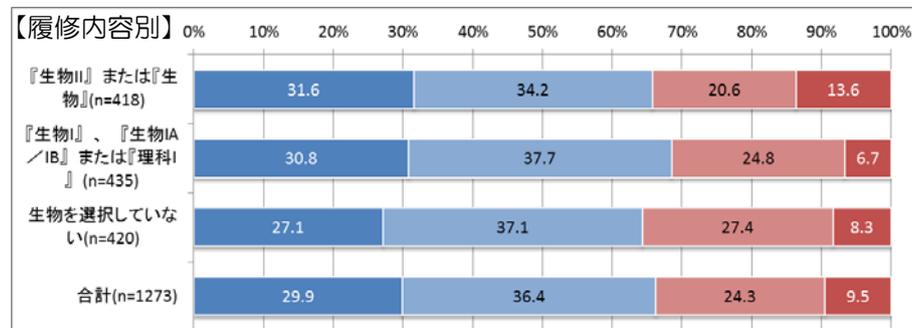


図 22 遺伝子組換えの野菜を食べますか

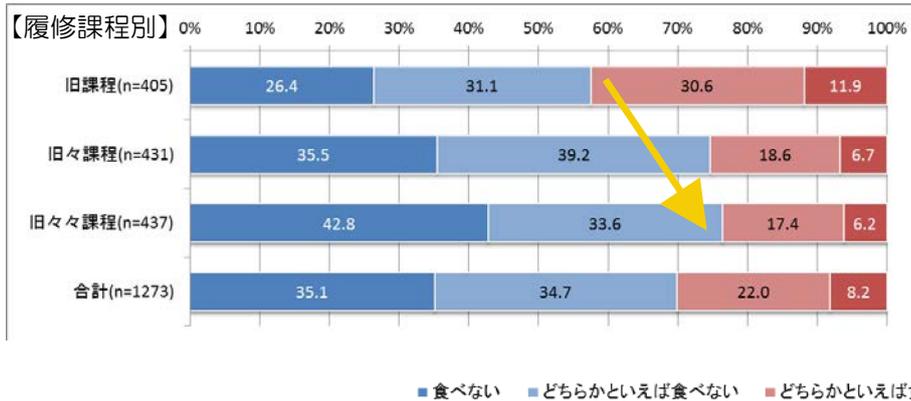
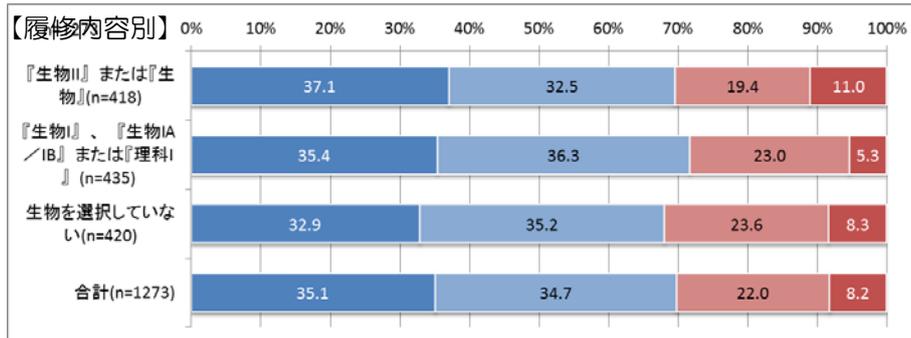


図 23 遺伝子組換えの肉を食べますか

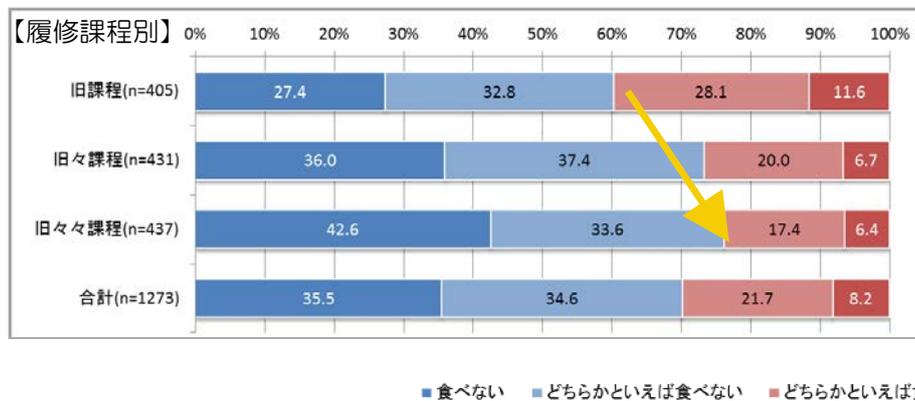
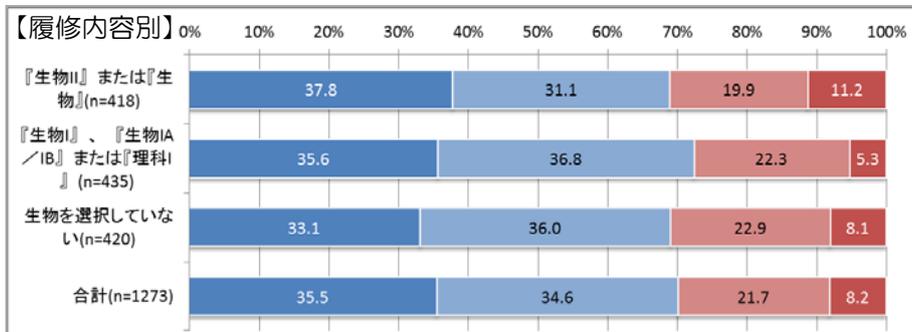
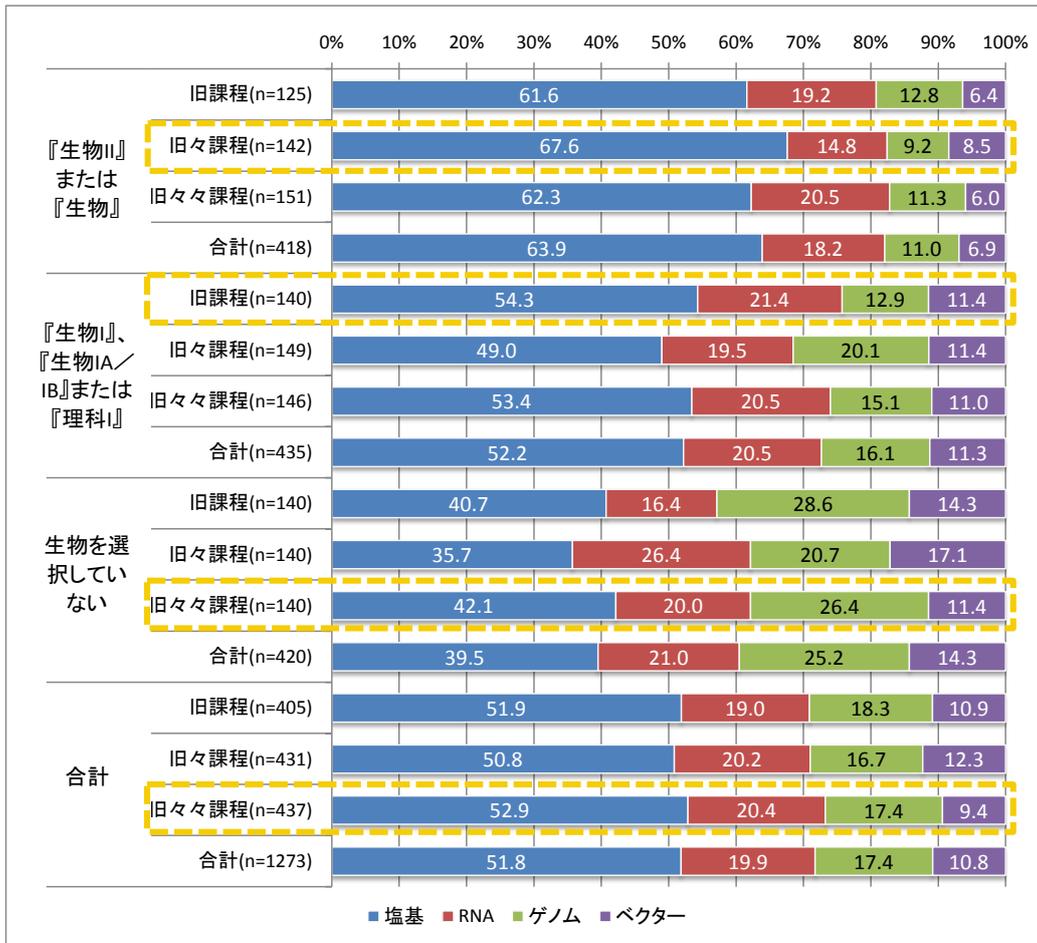


図 24 遺伝子組換えの魚を食べますか



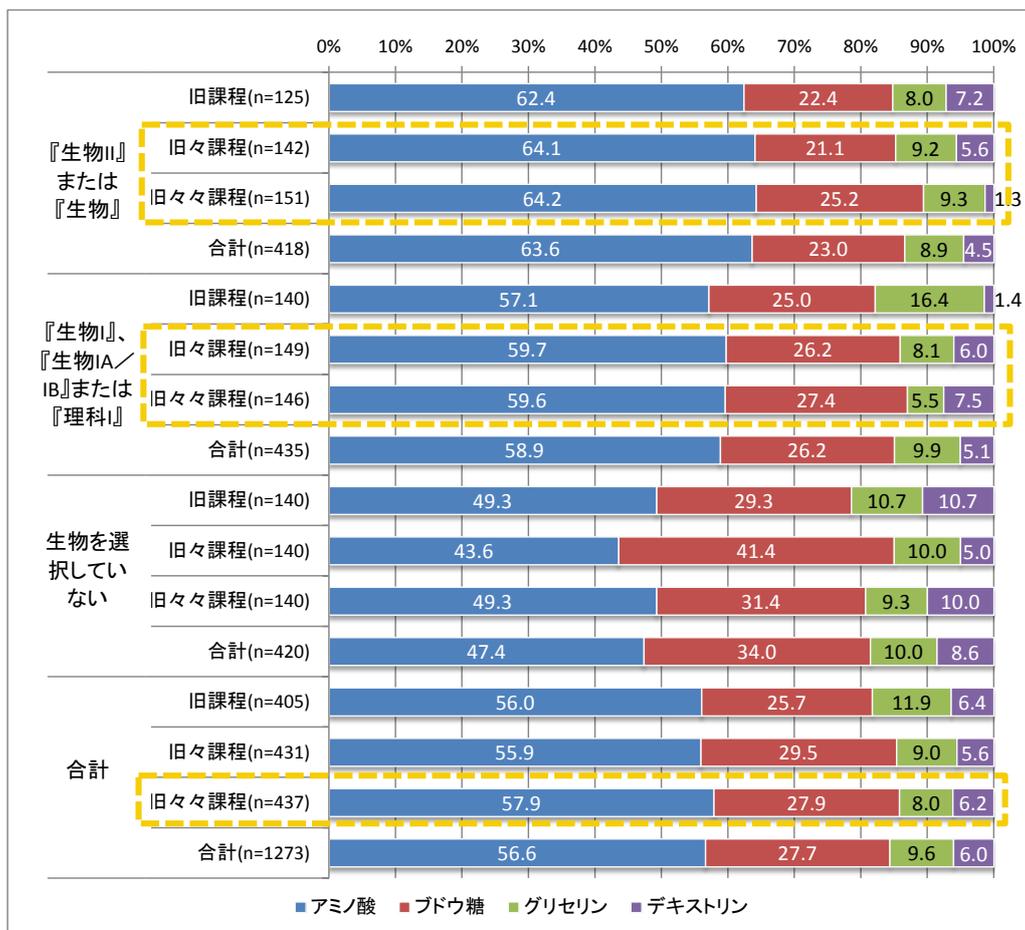
問) DNAは、4種類の(オ)で構成されており、(オ)の並び順によって遺伝子の性質が決まる。

必須 (オ)にあてはまると思うものを以下より選んでください。

- ベクター
 塩基
 RNA
 ゲノム

正解の選択肢

図 25 遺伝子組換えに関する次の文章を読んで、空欄に当てはまる言葉を選択肢の中から選んでください。



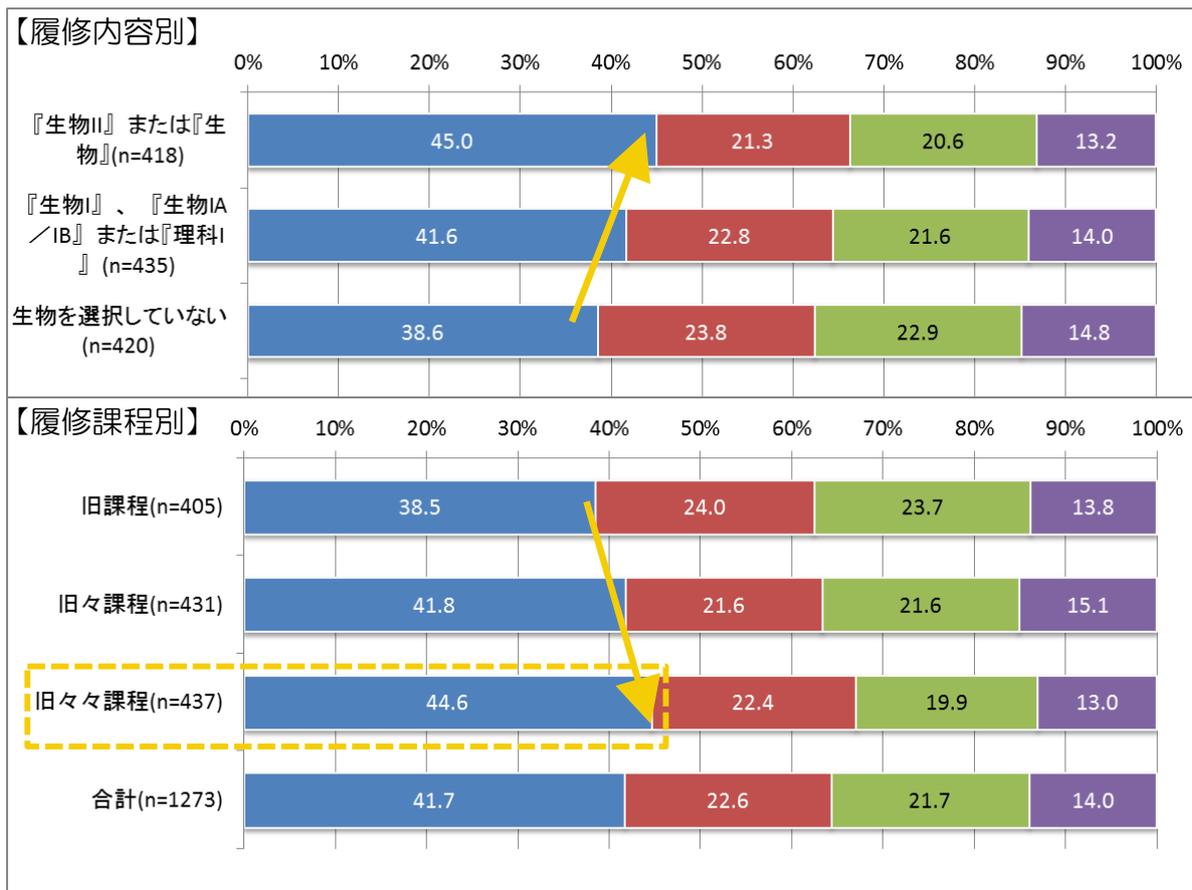
問) タンパク質は消化酵素によって
(ク) に分解され、吸収される。

【必須】 (ク) にあてはまると思うものを以下より選んでください。

- ブドウ糖
 グリセリン
 デキストリン
 アミノ酸

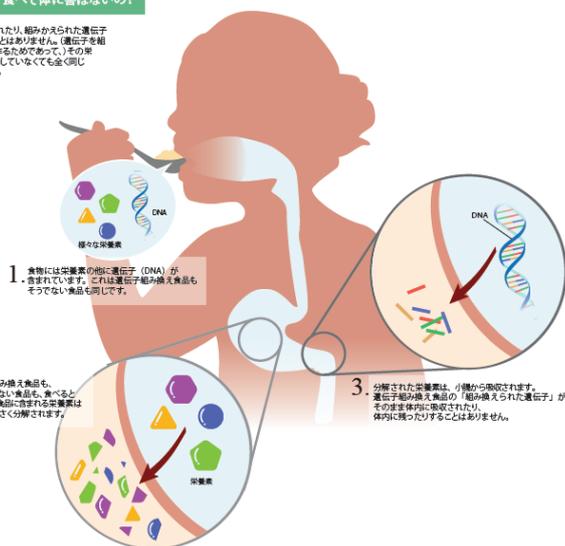
正解の選択肢

図 26 消化吸収に関する次の文章を読んで、
空欄に当てはまる言葉を選択肢の中から選んでください



遺伝子組み換え食品を食べて体に害はないの？

遺伝子がその産生体的に吸収されたら、組み換えられた遺伝子がその産生体内に残り続けることはありません。(遺伝子を組み換えるのは特定の食品を作るためであって、その産生体からは遺伝子組み換えをしてしまっても全く同じで、健康には影響を及ぼしません。)



- 選択肢**
1. 組換えられたDNAはそのまま吸収されてタンパク質等となり、体内に残存し、子どもにも受け継がれる
 2. 組換えられたDNAはそのまま吸収されてタンパク質等となり、体内に残存するが、子どもには受け継がれない
 3. 組換えられたDNAはそのまま吸収されてタンパク質等となるが、時間がたつと体外に排出される
 4. 組換えられたDNAは消化吸収される過程で分解され、タンパク質等となるため、そのままの形で体内に残存しない

正解の選択肢

図 27 遺伝子組換え食品を摂取した場合、体内でどのように消化・吸収されると思いますか

Companies with policies to not sell genetically engineered seafood	
GROCERY STORES	
21 Acres Farm Market	Jewel-Osco
Abundance Co-op Market	Kroger
ACME	Lassen's Natural Food & Vitamins
Albertsons	Life Source Natural Foods
Aldi	Linden Hills Co-Op
Alfalfa's Market	Marlene's Market & Deli
Alternative Food Cooperative	Marsh Supermarket
Amazing Grains Food Co-op	Medford Food Co-op
Amigos	Meijer
Belfast Cooperative	Merc Co-op
Berkshire Co-op Market	Mississippi Market Natural Foods Co-op
Bi-Rite Market	Mustard Seed Market & Café ²
Boise Consumer Co-op	New Leaf Community Market
Carrs	Oryana Natural Foods Market
Chautauqua Natural Foods	Pavilions
Common Market Co-op	PCC Natural Markets
Community Food Co-op	Rainbow Natural Foods (Georgia)
Coopertunity	Rainbow Natural Grocery Cooperative (California)
Costco	Raley's Family of Fine Foods
Davis Food Co-op	Randall's
Dawson's Market	Rebecca's Natural Foods
Eagle	Red Lobster
East End Food Co-op	Roundy's Supermarkets
Elm City Market	Sacramento Natural Foods Cooperative
Ellwood Thompson's Local Market	Safeway
Food & Thought	Santa Monica Coopportunity
First Alternative Natural Foods Co-op	Shaw's
The Food Co-op	Star Market
Follow Your Heart Natural Foods	Tacoma Food Co-op
Giant Eagle	Target
Good Earth Natural Foods	Three Rivers Market
Good Foods Market & Café	Tom Thumb
Green Bean Delivery	Trader Joe's
Hanover Co-op Food Stores	United
H-E-B ¹	Vashon Thriftway
Hendersonville Community Co-op	Vons
Honest Weight Food Co-op	Wedge Natural Foods Co-op
Hy-Vee	★ Whole Foods ³
Hungry Hollow Co-op	Whole Foods Co-op
Jimbo's...Naturally	Wise Women Care Associates
TOTAL NUMBER OF STORES: 11,105	
SEAFOOD COMPANIES	
Crown Prince, Inc	Marine Harvest USA
Ducktrap River of Maine	Onesta Organics ⁴
EcoFish	Vital Choice Wild Seafood & Organics, Inc. ⁵
RESTAURANTS/CHEFS	
Le Bernadine	Sundown at Granada
Restaurant Nora	Eataly
Waterbar Restaurant	Esca

*Companies listed on this website have stated their policies against the sale of genetically engineered seafood in at least one of the following ways: by signing and returning the **Pledge for GE-Free Seafood**, direct email communication with Friends of the Earth, or through public statements or public corporate policies.

*Companies with unknown policies are unlisted.

1 Policy expressed to media: <http://www.mysanantonio.com/business/article/H-E-B-other-grocery-chains-agree-not-to-sell-4383183.php>

2 Grocery store & café

★ 3 Whole Foods policy: www.wholefoodsmarket.com/sites/default/files/media/Global/PDFs/WholeFoodsMarket_FarmStandardsFinfishShrimp.pdf

Whole Foods has taken a big step further and ended its relationship with Lamasur Aquaculture, which used to supply Whole Foods' rainbow trout and which owns the aquaculture facility where genetically engineered salmon are raised Panama.

4 Pet food company, www.onestaorganics.com

5 Online seafood company

図 28 遺伝子組換え海産物を販売しない旨表明している企業リスト

出所)「GMO Animals」(Friends of the Earth ホームページ)

<http://www.foe.org/projects/food-and-technology/genetic-engineering/gmo-animals>

I. 参考資料

I-2. 研究結果

アンケート調査票

食生活に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- 掲示板やブログに書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

Q1
必須 あなたの生年月日をお答えください。

※1997年1月1日生まれの場合、下記の例に従ってご入力ください。

(入力例)

1997 年 (西暦でお答えください)
1 月 (1~12でお答えください)
1 日 (1~31でお答えください)

テキストボックス1 年 (西暦) 【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1937以上1997以内)

テキストボックス2 月 【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上12以内)

テキストボックス3 日 【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上31以内)

Q2
必須

あなたの職業をお答えください。

- 1.会社員（役員含む）
- 2.公務員
- 3.その他法人勤務
- 4.自営業
- 5.学生
- 6.専業主婦・主夫
- 7.無職
- 8.その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)

Q3
必須

あなたは、農産物や水産物、食品の製造や流通に専門的に関わるような仕事をされていますか。あなたの職業に最も近いものをお答えください。

- 1.農業
- 2.漁業・魚の養殖業
- 3.食品加工・製造
- 4.食品流通
- 5.研究・開発
- 6.食品関連行政
- 7.その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)
- 8.特に食品に専門的に関わるような仕事はしていない

Q4
必須

あなたの世帯全体の年収はどのくらいですか。最も近いものをひとつお答えください。

- 100万円未満
- 100万円台（100万円～200万円未満）
- 200万円台（200万円～300万円未満）
- 300万円台（300万円～400万円未満）
- 400万円台（400万円～500万円未満）
- 500万円台（500万円～600万円未満）
- 600万円台（600万円～700万円未満）
- 700万円台（700万円～800万円未満）
- 800万円台（800万円～900万円未満）
- 900万円台（900万円～1000万円未満）
- 1000万円以上

Q5
必須

あなたは現在結婚していますか。

- 1.結婚していない
- 2.結婚している

Q6
必須

あなたと同居している子ども（孫、甥姪等を含む）の状況について、当てはまるものをすべてお答えください。

	1. 同居している	2. 同居していない	3. 該当しない
6歳未満 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6～12歳未満 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12～19歳 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q7
必須

あなたの**幼少期**（小中学生の頃）の平均的な食生活（**平日の夕食**）についてお答えください。

	食べていなかった （全くしていなかった）	週に1回未満 （月に1～3回）	週に1～2回 （月に4～8回）	週の半分ほど （月に9～16回）	ほぼ毎日
1. あなたとご家族は、どの程度ご家庭で料理した食事を食べていましたか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. あなたとご家族は、どの程度調理済みの惣菜や弁当等を食べていましたか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. あなたとご家族は、どの程度インスタントやレトルト食品を食べていましたか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. あなたは、どの程度ご家族と平日の夕食に外食をされていましたか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q8
必須

あなたは**幼少期**（小中学生の頃）に、惣菜や弁当はどんなお店で購入することが多かったですか。
最も多いものをひとつお答えください。

- 1.スーパー
- 2.コンビニエンスストア
- 3.デパート・高級スーパー
- 4.惣菜専門店
- 5.持ち帰り弁当のチェーン店
- 6.調理済み食品の宅配
- 7.その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)

Q9
必須

あなたの**現在**の食生活（**平日の夕食**）についてお答えください。

	食べていない (全くしてない)	週に1回未満 (月に1~3回)	週に1・2回 (月に4~8回)	週の半分ほど (月に9~16回)	ほぼ毎日
1. あなたは、どの程度ご家庭で料理した食事を食べていますか →	<input type="radio"/>				
2. あなたは、どの程度調理済みの惣菜や弁当等を食べていますか →	<input type="radio"/>				
3. あなたは、どの程度インスタントやレトルト食品を食べていますか →	<input type="radio"/>				
4. あなたは、どの程度平日の夕食に外食をされていますか →	<input type="radio"/>				

Q10
必須

あなたは**現在**、惣菜や弁当はどんなお店で購入することが多いですか。最も多いものをひとつお答えください。

- 1.スーパー
- 2.コンビニエンスストア
- 3.デパート・高級スーパー
- 4.惣菜専門店
- 5.持ち帰り弁当のチェーン店
- 6.調理済み食品の宅配
- 7.その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)

Q11 あなたが**平日の夕食**で外食する理由を教えてください。
必須 最も当てはまるものをひとつお答えください。

- 1. 家族団らんのため
- 2. 家庭ではつくれない、おいしいものを食べたい
- 3. 友人と食事をするため
- 4. 仕事上の接待・会食が多い
- 5. 時々家事を休みたいため
- 6. お酒を飲みたいため
- 7. ストレス解消・憂さ晴らしのため
- 8. 忙しくて自炊の時間がないため
- 9. 自炊が嫌いなため
- 10. 自炊ができないため
- 11. 後片付けが面倒なため
- 12. 配偶者の希望
- 13. 子ども・孫の希望
- 14. 栄養のバランスが良いため
- 15. その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)

Q12 あなたが**平日の夕食**で、外食する際、平均して一人当たりいくら程度かけていますか。
必須

- 700円未満
- 700円以上1,500円未満
- 1,500円以上2,000円未満
- 2,000円以上

Q13 必須 あなたは、**平日の夕食**に家で食べる食事を準備する際、以下の点をどの程度気にしていますか。

	1. 全く気にしない	2. 気にしない	3. どちらかどちらか気にしない	4. どちらかどちらか	5. 気にする	6. 非常に気にする
1. 価格が安い	<input type="radio"/>					
2. 味が良い	<input type="radio"/>					
3. 栄養バランスが取れている	<input type="radio"/>					
4. 地元や国産の原材料	<input type="radio"/>					
5. 時間をかけずに準備できる	<input type="radio"/>					
6. 調理する環境が清潔	<input type="radio"/>					
7. 環境に配慮した食材	<input type="radio"/>					
8. 食材や惣菜を購入する店の評判・口コミ	<input type="radio"/>					
9. 遺伝子組換えではない食材	<input type="radio"/>					
10. その時に食べたいもの	<input type="radio"/>					
11. 農薬が少ない（有機・無農薬・減農薬）食材	<input type="radio"/>					
12. 食品添加物を含まない食材	<input type="radio"/>					
13. アレルギー食材を使っていない	<input type="radio"/>					

Q14
必須

あなたは、**平日の夕食に外食する**際、以下の点をどの程度気にしていますか。

	1. 全く気にしない	2. 気にしない	3. やや気にする	4. やや気にする	5. 気にする	6. 非常に気にする
1. 価格が安いか →	<input type="radio"/>					
2. 味が良いか →	<input type="radio"/>					
3. 栄養バランスが取れているか →	<input type="radio"/>					
4. 地元や国産の原材料か →	<input type="radio"/>					
5. 待ち時間が短いか →	<input type="radio"/>					
6. 衛生管理をしっかり行っているか →	<input type="radio"/>					
7. 環境に配慮した食材か →	<input type="radio"/>					
8. 店の評判・口コミ →	<input type="radio"/>					
9. 遺伝子組換えではない食材か →	<input type="radio"/>					
10. その時に食べたいものか →	<input type="radio"/>					
11. 農薬が少ない（有機・無農薬・減農薬）食材を使っているか →	<input type="radio"/>					
12. 食品添加物を含まない食材か →	<input type="radio"/>					
13. アレルギー食材を使っていないか →	<input type="radio"/>					
	1. 全く気にしない	2. 気にしない	3. やや気にする	4. やや気にする	5. 気にする	6. 非常に気にする

Q15
必須

あなたの**理想の食生活（平日の夕食）**についてうかがいます。

	食べたくない	週に1回未満 (月に1〜3回)	週に1・2回 (月に4〜8回)	週の半分ほど (月に9〜16回)	ほぼ毎日
1. あなたは、家庭で作られた食事を食べる頻度をどの程度にしたいですか →	<input type="radio"/>				
2. あなたは、調理済みの惣菜や弁当を食べる頻度をどの程度にしたいですか →	<input type="radio"/>				
3. あなたは、インスタントやレトルト食品を食べる頻度をどの程度にしたいですか →	<input type="radio"/>				
4. あなたは、平日の夕食に外食をする頻度をどの程度にしたいですか →	<input type="radio"/>				

Q16
必須

あなたは外食に対してどのように思いますか。1つ選んでください。

- 1. しないようにしたい
- 2. 特別なとき（誕生日や記念日など）だけにしたい
- 3. 気がひける
- 4. やむを得ない
- 5. 気軽に行きたい
- 6. できるならば毎日でも行きたい

Q17
必須

惣菜や弁当はどのようなお店で購入したいですか。
最も希望する場所をひとつお答えください。

- 1. スーパー
- 2. コンビニエンスストア
- 3. デパート・高級スーパー
- 4. 惣菜専門店
- 5. 持ち帰り弁当のチェーン店
- 6. 調理済み食品の宅配
- 7. その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)
- 8. 購入しない

Q18
必須

平日の夕食について、現在の食生活を変えたいと思いますか。

- 1.全くそう思わない
- 2.そう思わない
- 3.どちらかというと思わない
- 4.どちらかというと思う
- 5.そう思う
- 6.非常にそう思う

Q19
必須

平日の夕食について、食生活を変えたいと思う場合、どのように変えたいと思いますか。

	1. 全く そう 思わ ない	2. そう 思わ ない	3. どちら かとい うと思 わな い	4. どちら かとい うと思 う	5. そう 思 う	6. 非常 に そう 思 う
1. 今より食事の準備に時間をかけたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 今より食事を食べるのに時間をかけたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 今より豪華な外食を増やしたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 今より品質の良い食材を使いたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 調理済み食品などを上手に使っていきたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. なるべく食べるための時間を節約したい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 食事のバランスを良くしたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 規則正しい時間に食事をしたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q20 必須 あなたは、普段どの程度食料品の買い物をされますか。
最も近いものをひとつお答えください。

- しない
- 週に1回未満（月に1～3回）
- 週に1・2回（月に4～8回）
- 週の半分ほど（月に9～16回）
- ほぼ毎日

Q21 必須 あなたはご家庭で料理を担当しますか。

- 1.はい
- 2.いいえ

Q22 必須 あなたは、食材（ご家庭で調理する材料）を購入する際、どこで購入していますか。
利用する機会が多いものを**3つ**選び、優先順位をお答えください。

	1. 利用する機会が多いもの（3つ）	2. 優先順位 （1～3の数字を入力）
1. スーパー（ネットスーパーを含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上3以内)
2. コンビニエンスストア	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上3以内)
3. デパート・高級スーパー	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上3以内)
4. 生協の宅配サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上3以内)
5. 有機農産物や無農薬野菜等を扱うスーパー等 または定期宅配サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上3以内)
6. その他 <input type="text"/> (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上3以内)

食品の表示ラベルについて伺います。

Q23
必須

あなたは食品を購入する際、原材料や栄養成分が記載されたラベルを確認しますか。

- 1.全く確認しない
- 2.確認しない
- 3.どちらかという確認しない
- 4.どちらかという確認する
- 5.確認する
- 6.よく確認する

Q24
必須

豆腐を想定して、食品ラベル表示でもっとも重視するものを3つお答えください。

名称	きぬごし豆腐
原材料名 ⇒①原材料	丸大豆（**産） （遺伝子組換えでない）、 凝固剤
内容量	300 g
消費期限 ⇒⑤消費期限	**年**月**日
保存方法	要冷蔵（10℃以下）
製造者 ⇒⑥製造者	**豆腐（有限会社） **市**町**

⇒②産地・原料原産地
⇒③遺伝子組換えかどうか
⇒④食品添加物

栄養成分表示	
エネルギー ** kcal	炭水化物 ** g
タンパク質 ** g	食塩相当量 ** g
脂質 ** g	

⇒⑦カロリー（エネルギー）
⇒⑧糖分（炭水化物）
⇒⑨塩分（食塩相当量）
⇒⑩脂肪分（脂質）

- 1.原材料
- 2.産地・原料原産地
- 3.遺伝子組換えかどうか
- 4.食品添加物
- 5.消費期限
- 6.製造者
- 7.カロリー（エネルギー）
- 8.糖分（炭水化物）
- 9.塩分（食塩相当量）
- 10.脂肪分（脂質）

Q25
必須

ポテトチップスを想定して、食品ラベル表示でもっとも重視するものを3つお答えください。

名称	ポテトチップス
原材料名 ⇒①原材料	じゃがいも（遺伝子組換え不分別）、植物油、砂糖、食塩、こんぶパウダー、デキストリン、香料、酸化防止剤（ビタミンC）
内容量	60 g
消費期限 ⇒⑤消費期限	**年**月**日
保存方法	直射日光の当たる所、高温多湿のところでの保存は避けてください
製造者 ⇒⑥製造者	〇〇株式会社 **市**町**

⇒②産地・原料原産地
⇒③遺伝子組換えかどうか
⇒④食品添加物

栄養成分表示	
エネルギー**kcal	炭水化物**g
タンパク質**g	食塩相当量**g
脂質**g	

⇒⑦カロリー（エネルギー）
⇒⑧糖分（炭水化物）
⇒⑨塩分（食塩相当量）
⇒⑩脂肪分（脂質）

- 1.原材料
- 2.産地・原料原産地
- 3.遺伝子組換えかどうか
- 4.食品添加物
- 5.消費期限
- 6.製造者
- 7.カロリー(エネルギー)
- 8.糖分(炭水化物)
- 9.塩分(食塩相当量)
- 10.脂肪分（脂質）

Q26 食品ラベルに「不分別」と表示されているものがあります。あなたは「不分別」がどういう意味かを知っていますか。

- 1.はい
- 2.いいえ

「不分別」とは、非遺伝子組換えのものと遺伝子組換えのものを、流通過程で分けていないという意味です。

Q27 遺伝子組換え不分別の食品には、どの程度の割合で遺伝子組換えの原材料が含まれていると思いますか。

- 5%未満
- 5%以上10%未満
- 10%以上30%未満
- 30%以上50%未満
- 50%以上70%未満
- 70%以上90%未満
- 90%以上95%未満
- 95%以上
- 分からない

Q28
必須

あなたが下記の年代において、自分が**食べるものの安全性**をどの程度気にかけてきましたか。

	1. 全く気にしていなかった・いない	2. 気にしていなかった・いない	3. どちらかというや気にしてなかった・いない	4. どちらかというや気にしていた・している	5. 気にしていた・している	6. 非常に気にしていた・している	7. 該当しない
1. 中学・高校生の時期	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 大学・専門学校から就職までの時期	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 就職から結婚するまでの時期	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 結婚後、子どもができるまでの時期	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 妊娠・授乳中	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 子育てを開始してからの時期 (一番年下の子どもの年齢が6歳未満)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 子育てを開始してからの時期 (一番年下の子どもの年齢が6～11歳)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 子育てを開始してからの時期 (一番年下の子どもの年齢が12歳以上～子どもが独立するまでの時期)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 子どもが独立してから、自分が退職するまでの時期	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 自分の退職後の時期	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	1. 全く気にしていなかった・いない	2. 気にしていなかった・いない	3. どちらかというや気にしてなかった・いない	4. どちらかというや気にしていた・している	5. 気にしていた・している	6. 非常に気にしていた・している	7. 該当しない

Q29
必須

食品の安全性を気にかけるきっかけは何でしたか。

	1. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	2. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	3. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	4. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	5. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	6. 非常にご家族の健康への ご配慮がきっかけ	7. 該当しない
1. 結婚した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 子供ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 食品に関する事件が社会をにぎわせた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 体力の衰えを感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> [] 歳ごろ (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内)	<input type="radio"/> [] 歳ごろ (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内)	<input type="radio"/> [] 歳ごろ (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内)	<input type="radio"/>
5. 身体を壊したことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> [] 歳ごろ (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内)	<input type="radio"/> [] 歳ごろ (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内)	<input type="radio"/> [] 歳ごろ (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内)	<input type="radio"/>
6. 子供が独立して、食品を気にかける時間的余裕ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 子供が独立して、食品を気にかける金銭的余裕ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 孫ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	1. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	2. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	3. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	4. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	5. ご家族の健康への ご配慮がきっかけ	6. 非常にご家族の健康への ご配慮がきっかけ	7. 該当しない

Q29-1 食品の安全性を気にかけるきっかけとして、その他にあてはまる方に伺います。
必須 きっかけとなったことを具体的にお答えください。

(文字数制限なし)

Q30 Q29でご回答いただいた項目で、食品の安全性を気にかけるきっかけとして、最もあてはまるもの1つをお答えください。
必須

- 1.結婚した *
- 2.子供ができた *
- 3.食品に関する事件が社会をにぎわせた *
- 4.体力の衰えを感じた *
- 5.身体を壊したことがある *
- 6.子供が独立して、食品を気にかける時間的余裕ができた *
- 7.子供が独立して、食品を気にかける金銭的余裕ができた *
- 8.孫ができた *
- 9.その他 *

Q31 あなたは食生活において、健康に気を遣うようにしていますか。
必須

- 1.はい
- 2.いいえ

Q32 あなたは食生活において、どなたの健康に一番気を遣っていますか。
必須 同居者の中から最も当てはまるものをひとつお答えください。

- 1.自分 *
- 2.配偶者
- 3.子供（20歳未満） *
- 4.子供（20歳以上） *
- 5.孫 *
- 6.その他 * (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)

Q33
必須

健康を気にかけるきっかけは何でしたか。

	1. ご家族の健康に関心した	2. ご自身の健康に関心した	3. ご自身の健康に関心した人がいることに関心した	4. ご自身の健康に関心した人がいることに関心した	5. ご自身の健康に関心した	6. 非営利団体の健康に関心した	7. 健康に関心した
1. 結婚した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 子供ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 食品に関する事件が社会をにぎわせた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 体力の衰えを感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				<input type="text" value=""/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内) 歳ごろ	<input type="text" value=""/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内) 歳ごろ	<input type="text" value=""/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内) 歳ごろ	
5. 身体を壊したことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				<input type="text" value=""/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内) 歳ごろ	<input type="text" value=""/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内) 歳ごろ	<input type="text" value=""/> (回答必須)(数字のみ(小数不可))(制限あり:0以上79以内) 歳ごろ	
6. 子供が独立して、食品を気にかける時間的余裕ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 子供が独立して、食品を気にかける金銭的余裕ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 孫ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	1. ご家族の健康に関心した	2. ご自身の健康に関心した	3. ご自身の健康に関心した人がいることに関心した	4. ご自身の健康に関心した人がいることに関心した	5. ご自身の健康に関心した	6. 非営利団体の健康に関心した	7. 健康に関心した

Q33-1 健康を気にかけるきっかけとして、その他にあてはまる方に伺います。
必須 きっかけとなったことを具体的にお答えください。

(文字数制限なし)

Q34 Q33でご回答いただいた項目で、健康を気にかけるきっかけとして、最もあてはまるもの1つをお答えください。

- 1.結婚した✳
- 2.子供ができた✳
- 3.食品に関する事件が社会をにぎわせた✳
- 4.体力の衰えを感じた✳
- 5.身体を壊したことがある✳
- 6.子供が独立して、食品を気にかける時間的余裕ができた✳
- 7.子供が独立して、食品を気にかける金銭的余裕ができた✳
- 8.孫ができた✳
- 9.その他✳

Q35 健康を保つために気をつけていることはありますか？
必須 最もあてはまるもの1つをお答えください。

- 1.気をつけていることはない
- 2.毎日軽い運動をする（10分程度で日常気をつけていることで結構です。例えば、歩いて買い物に行くなど）
- 3.食事は腹八分目を気をつけている
- 4.国産食品しか食べない
- 5.カロリーが高い食品を避けている
- 6.塩分を控えている
- 7.遺伝子組換え食品を避けている
- 8.添加物を避けている
- 9.糖分を控えている
- 10.脂肪分を控えている
- 11.その他 (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし)

Q36 必須 遺伝子組換え食品に抵抗がありますか。

- 1.全く無い
- 2.無い
- 3.どちらかという無い
- 4.どちらかというある
- 5.ある
- 6.非常にある

Q37 必須 遺伝子組換え作物・食品を国内で生産することにあなたは抵抗がありますか。

- 1.全く無い
- 2.無い
- 3.どちらかという無い
- 4.どちらかというある
- 5.ある
- 6.非常にある

Q38 必須 以下の設問にお答えください。

	1. 全くそう 思わない	2. そう 思わない	3. あまり そう 思わない	4. 少し そう 強い	5. そう 強い	6. 大変 そう 思う
1. あなたは、食品の安全性に関心がありますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. あなたは、食品の安全性に不安を感じますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. あなたは食品に関する事件の報道を注意して みますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. あなたは食品に関する事件の報道は、事実を 伝えていると思いますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食品に関する事件が発生した場合、 5. あなたは「食品企業」は厳密な調査結果を 発表していると思いますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食品に関する事件が発生した場合、 6. あなたは「国」は厳密な調査結果を 発表していると思いますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q39 2008年1月に中国産の冷凍ギョウザによる食中毒事件が発生しました。
必須 あなたは、その事件の後、中国産の食品を買い控えましたか。

- 1.全く気にせず購入している
- 2.一時的に買い控えた
- 3.現在も買い控えている

Q40 2011年3月、福島第一原子力発電所事故が発生しました。
必須 あなたは、その事故の後福島県産の食品を買い控えましたか。

- 1.全く気にせず購入している
- 2.一時的に買い控えた
- 3.現在も買い控えている

Q41 下記の製品について「購入してもよい」か「購入したくない」かお答えください。
必須 (下記の製品が実際にあったとしてお答えください。また、好き嫌いやアレルギーなどは関係なくお答えください)

	1. 購入したくない	2. 購入してもよい
1. 遺伝子組換えのサケ(鮭) →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 遺伝子組換えトウモロコシを使ったトウモロコシの缶詰 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 遺伝子組換えのじゃがいもを使ったポテトチップス →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 遺伝子組換えの大豆を原料とした豆腐 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 遺伝子組換えキャノーラを原料とした植物油 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q42 Q41で下記の製品について「購入してもよい」とした方はいくらなら支払ってもよいと思いま
必須 すか。自由に支払ってもいい金額をお答えください。

※かつこ内は従来から売られている「遺伝子組換えではない製品」の平均市場価格です。
※下記の製品が実際にあったとしてお答えください。また、好き嫌いやアレルギーなどは関係なくお答えください。

- 遺伝子組換えのサケ（鮭） **テキストボックス1**
(1切れ130円程度) 円 **【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上9999999以内)**✳
- 遺伝子組換えのトウモロコシの缶詰 **テキストボックス2**
(200g1缶 130円程度) 円 **【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上9999999以内)**✳
- 遺伝子組換えのじゃがいもを使ったポテトチップス **テキストボックス3**
(1袋60g 100円程度) 円 **【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上9999999以内)**✳
- 遺伝子組換えの大豆を原料とした豆腐 **テキストボックス4**
(150g 120円程度) 円 **【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上9999999以内)**✳
- 遺伝子組換えのキャノーラを原料とした植物油 **テキストボックス5**
(1kg 230円程度) 円 **【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:1以上9999999以内)**✳

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【食生活に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント